

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

<24週> 手足口病、ヘルパンギーナ - 定点当たり報告数はいずれも前週に比べて増加している / その他最新動向
<5月> 性感染症・薬剤耐性菌・結核について



注目すべき感染症
P.7

<麻疹> 2002年第1週からの累積報告数は8,795例(成人麻疹は累積で249例)
<腸管出血性大腸菌感染症> 第24週の報告数は42例(うち有症者は30例)



病原体情報
P.8

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 無菌性髄膜炎 / 手足口病 / 咽頭結膜熱



速報
P.9

エコーウイルス13型による無菌性髄膜炎の流行、および県内住民の抗体保有状況 - 福井県



海外感染症情報
P.10

エルサルバドルでデング熱 / デング出血熱の流行 / コンゴで急性出血熱疑い疾患の流行 - 更新



感染症の話
P.11-16

クロイツフェルト・ヤコブ病
100万人に一人の割合で弧発性または家族性に生じ、脳組織の海綿(スポンジ)状変性を特徴とする疾患である。



読者のコーナー
P.17



グラフ総覧(24週)
P.18-24



グラフ総覧(5月)
P.25-29



5月のデータ
P.30-33



24週のデータ
P.34-41



発生動向総覧

第24週コメント 6月20日集計分

全数報告の感染症

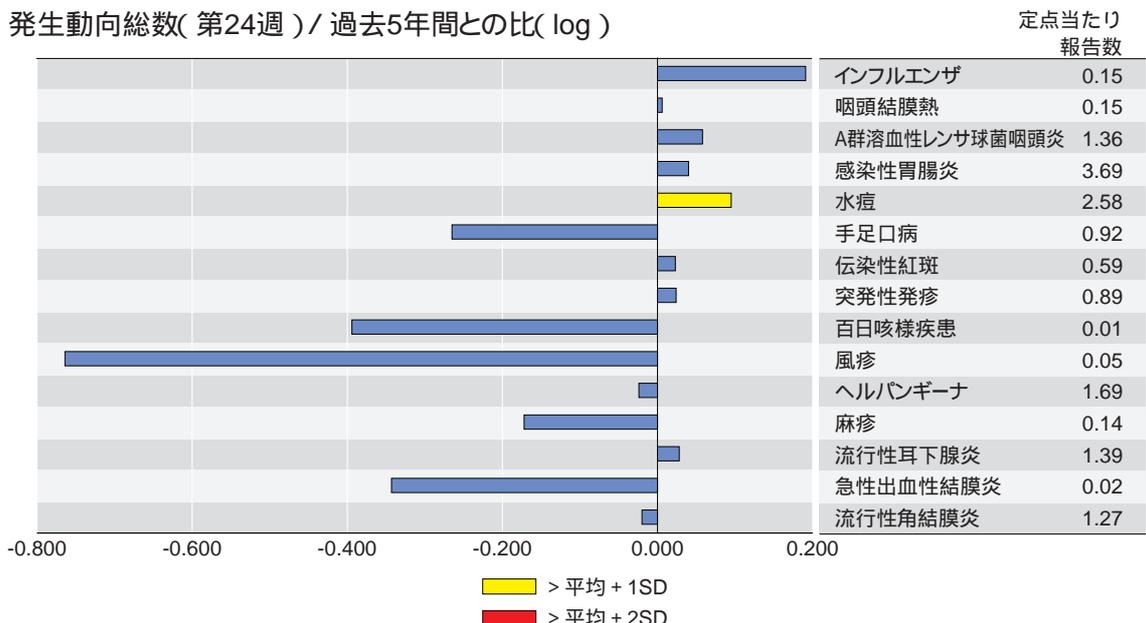
- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢9例(うち1例は疑似症から否定された。推定感染地: 国内3例、インドネシア3例、フィリピン2例) 腸チフス2例(推定感染地: アフガニスタン/パキスタン1例、不明1例) パラチフス1例(推定感染地: 不明)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症42例(うち有症者30例)
- 4類感染症: アメーバ赤痢8例(推定感染地: 国内4例、東南アジア1例、イギリス/カナダ/ギリシャ1例、その他1例、不明1例) Q熱1例(推定感染地: 国内) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、ジアルジア症2例(推定感染地: インド、フィリピン各1例) 髄膜炎菌性髄膜炎1例(型別未検査) ツツガムシ病2例、デング熱1例(推定感染地: カンボジア) ライム病2例、レジオネラ症2例 急性ウイルス性肝炎12例 A型6例 B型4例(感染経路: 全て性的接触) C型1例 サイトメガロウイルス1例 後天性免疫不全症候群10例(無症候性3例、AIDS 5例、その他2例) 感染経路: 性的接触7例(異性間4例、同性間3例) 静注薬物使用1例、不明2例 梅毒5例(早期顕症2例、無症候性3例)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

水痘の定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比べてやや多く、都道府県別では山形県(5.6) 福島県(5.5)などで多くなっている。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は急速に増加して例年の報告数を上回っており、都道府県別では高知県(2.3) 福井県(2.0)からの報告数が多い。

他の疾患の定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比べて特別多くなってはいない。しかし、ヘルパンギーナの定点当たり報告数は引き続き増加しつつあり、都道府県別では新潟県(5.1) 宮崎県(4.5) 鳥取県(3.6)などからの報告が多い。咽頭結膜熱および手足口病の定点当たり報告数もゆっくりと増加しつつある。インフルエンザの定点当たり報告数は減少し、例年並に戻っているが、都道府県別では沖縄県(3.7) 岩手県(1.6)からの報告数がまだ多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少しているが、都道府県別では宮城県(7.3) 宮崎県(6.5)からの報告数が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は前週より減少したが、都道府県別では岩手県(4.3)が多くなっている。麻疹の定点当たり報告数は全体としては例年より低い水準を保っているが、都道府県別では青森県(0.7) 岐阜県(0.7)からの報告が多くなっている。

発生動向総数(第24週)/過去5年間との比(log)

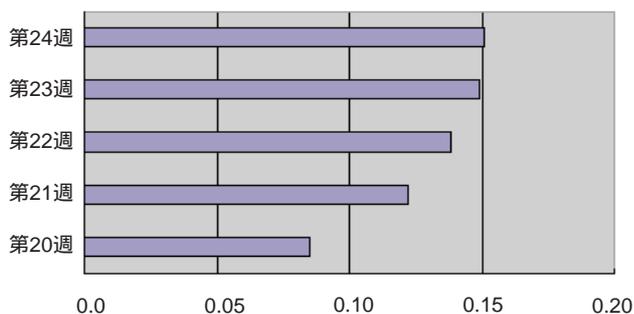


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

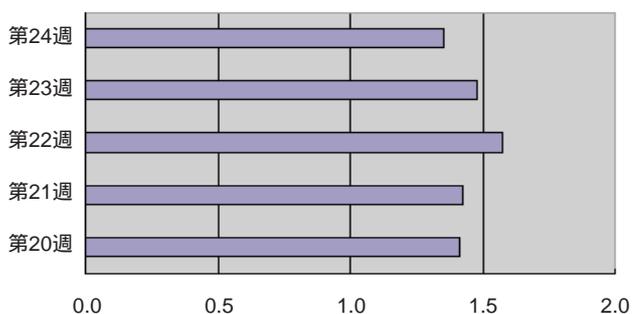
最近の注目疾患－5週間の動き

手足口病、ヘルパンギーナの定点当たり報告数はいずれも前週に比べて増加している。咽頭結膜熱、水痘の定点当たり報告数は殆んど不変である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、伝染性紅斑の定点当たり報告数は前週に比べて減少した。

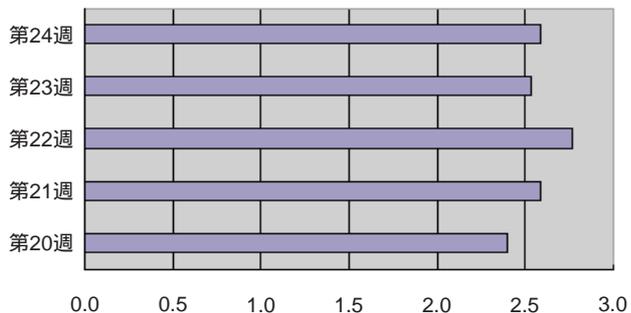
咽頭結膜熱



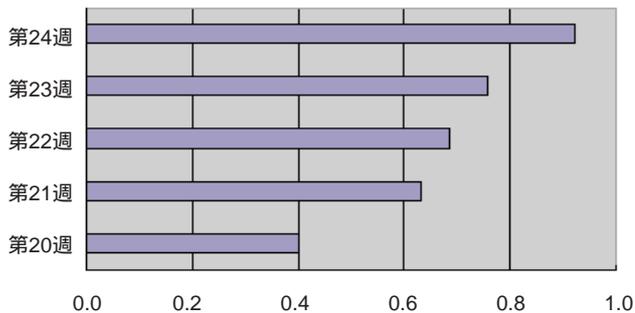
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



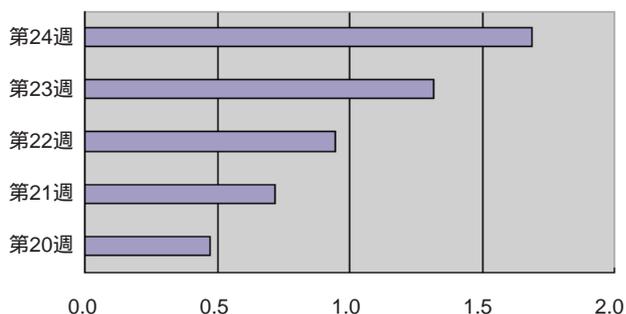
水痘



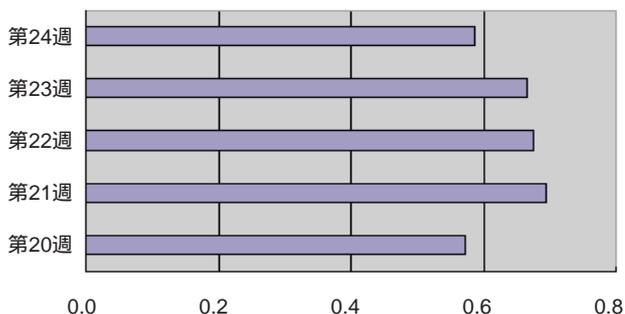
手足口病



ヘルパンギーナ



伝染性紅斑



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。

5月コメント

性感染症について(6月12日集計分)

2002年5月の月別定点当たり患者報告数は、性器クラミジア感染症が4.31(男1.76、女2.54)、性器ヘルペスウイルス感染症が0.87(男0.37、女0.51)、尖形コンジロームが0.52(男0.27、女0.25)、淋菌感染症が2.07(男1.65、女0.42)で、4疾病のうち、男性では性器クラミジア感染症および淋菌感染症、女性では性器クラミジア感染症が多かった。前月に比べ、性器クラミジア感染症および淋菌感染症が男女ともに増加している(25～28ページグラフ総覧参照)。

定点当たり報告数を年齢階級別に比較すると、いずれの疾病でもピークは20～29歳にあったが、性器ヘルペスウイルス感染症では30～34歳にも多く、他の3疾病に比べ50代以降の高年齢層からの報告も少なくない(図1)。

男女比は、性器クラミジア感染症で1:1.44、性器ヘルペスウイルス感染症で1:1.39、尖形コンジロームで1:0.90、淋菌感染症で1:0.25で、淋菌感染症では男性の占める割合が高い。いずれの疾病でも若年齢層ほど女性の報告者数が多い傾向が認められた。(5月の性感染症定点総数は915)

感染症法が施行された1999年4月以降について、性器クラミジア感染症の月別定点当たり報告数を男女別に図2に示した。本月は、特に女性において、いずれの年齢層でも増加しており、これから夏にかけて注意が必要である。

なお、25～28ページ「グラフ総覧」で示した各性感染症の月別定点当たり報告数において1999年3月と4月の間に生じたギャップ、および本発生動向調査で得られる患者報告数の男女比については、本週報2000年第46号4ページを参照されたい。

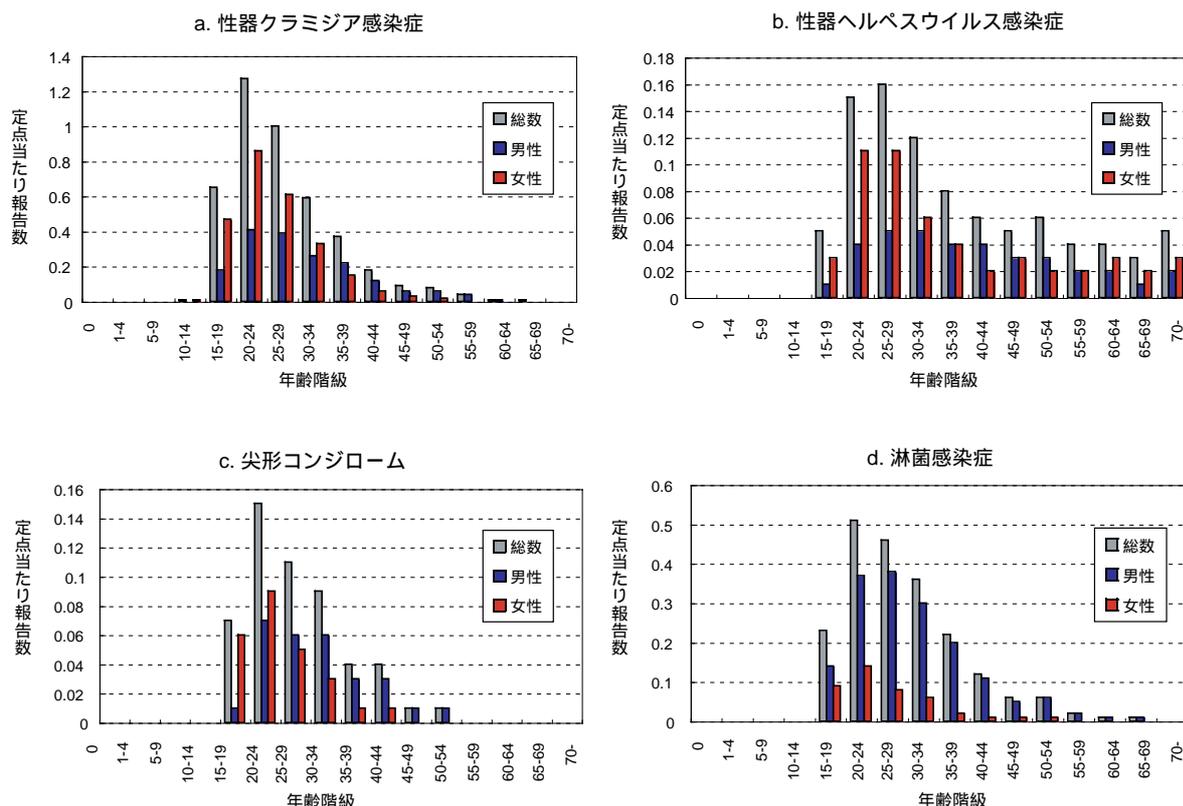
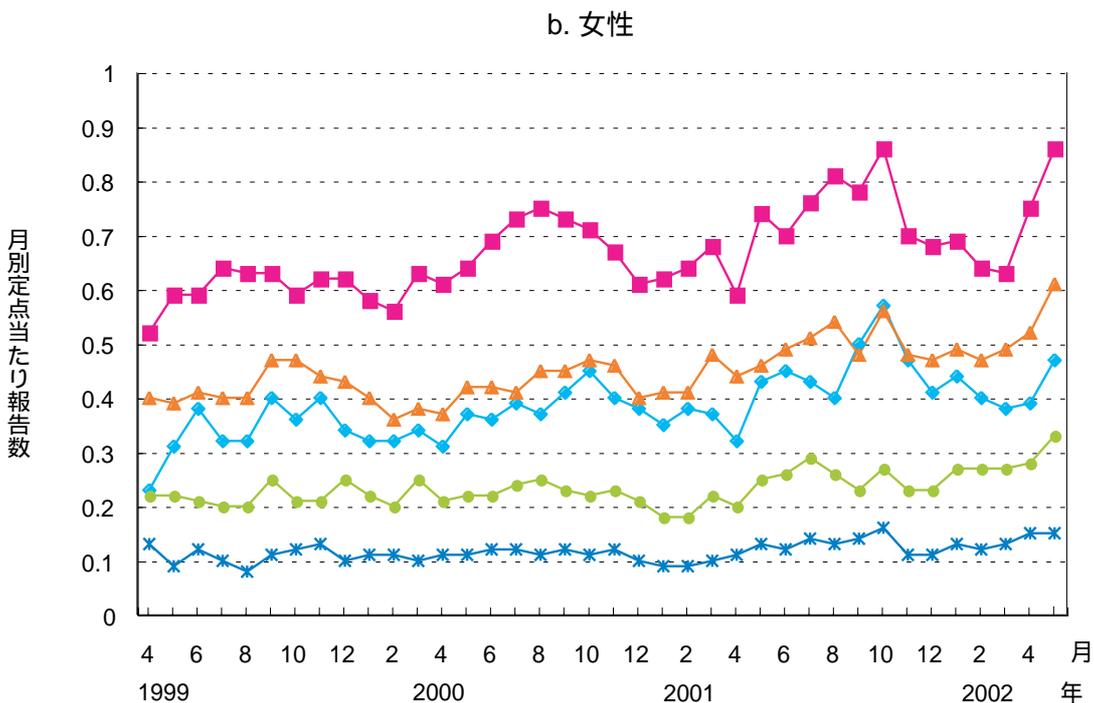
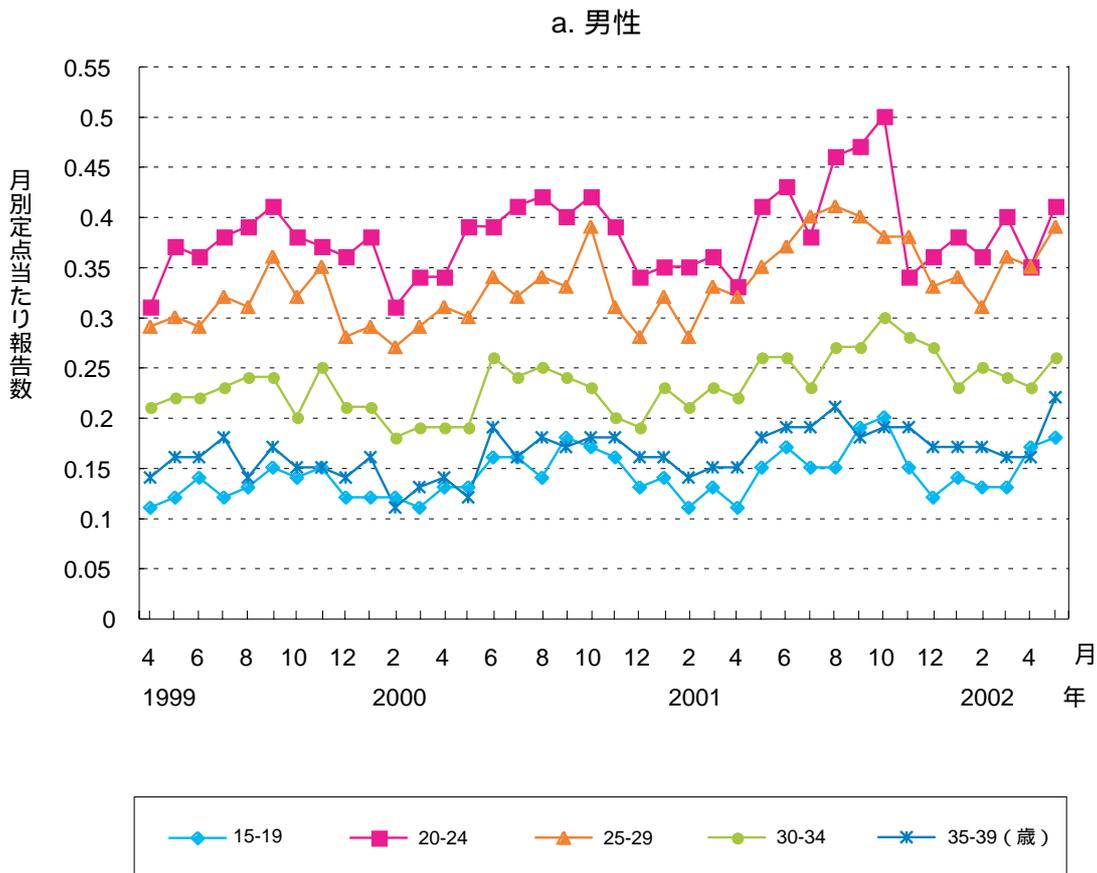


図1. 性感染症の年齢階級・性別グラフ

図2. 1999年4月以降の性器クラミジア感染症の年齢別月別定点当たり報告数



薬剤耐性菌感染症について(6月12日集計分)

【注】 内の+、-、=は、前月に比し定点当たり報告数のそれぞれ増加、減少、不変を表す。

5月の基幹定点総数: 463 .

5月の定点当たり報告数: メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症 3.5(=)

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症 1.29(+)

薬剤耐性緑膿菌感染症 0.14(=)

年齢階級別: MRSA感染症.....0歳と高齢者に多く、65歳以上が全体の63%を占める。

PRSP感染症.....1～4歳が最も多く、5歳未満が68%を占める。

薬剤耐性緑膿菌感染症...高齢者に多く見られ、65歳以上が全体の53%を占める。

性別: MRSA感染症は定点当たりの報告数で男性が女性を約2倍、薬剤耐性緑膿菌感染症では約5倍上回っている。

都道府県別: MRSA感染症.....高知県(9.63)、富山県(7.60)、東京都(7.55)などの数値が高い

PRSP感染症.....千葉県(6.11)、富山県(5.40)などの数値が高い

薬剤耐性緑膿菌感染症...高知県からの数値は5月分(1.75)、累積(4.25)ともに高い

結核サーベイランス月報(6月21日集計分)

5月の新登録患者数は2,874人、活動性肺結核患者は2,342人(うち喀痰塗抹陽性患者は1,049人)であった。

また、新登録患者数に含まれない(統計的には別掲扱い)マル初*は660人、非定型抗酸菌陽性者数は234人であった。

*マル初...結核の感染が強く疑われ発病予防のための治療を受けている者であって、正確には結核発病者ではない。

コメントは結核研究所の結核発生動向調査結果報告(<http://www.jata.or.jp/tbmr/tbmr.htm>)をご覧ください。



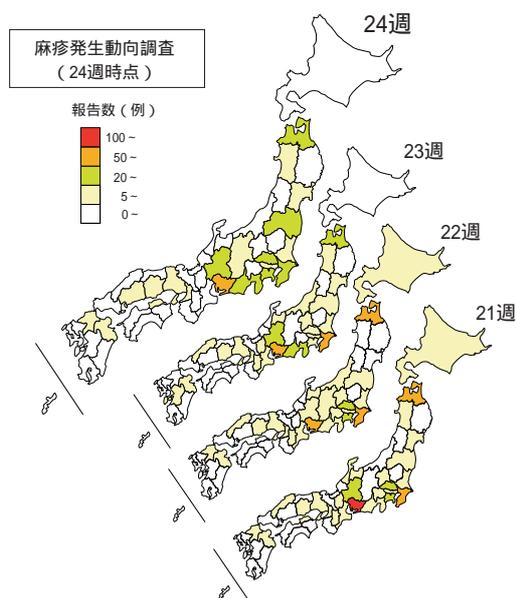
注目すべき感染症

麻疹

麻疹は例年年明けから春にかけて報告が増加し、5月頃流行のピークを迎える。昨年は1992、1993年以来の大きな流行となり、成人麻疹の増加も認められた。2002年の第24週までの発生状況に関しては、全国レベルでの定点当たり報告数は例年にくらべ低くなっている(21ページグラフ参照)。第24週現在定点当たり報告数が多くなっているのは、青森県(0.7)、岐阜県(0.7)、福島県(0.5)などである。本年第1週からの累積報告数は8,795例である。全国約500の基幹病院定点から報告される成人麻疹は、累積で249例となっている。

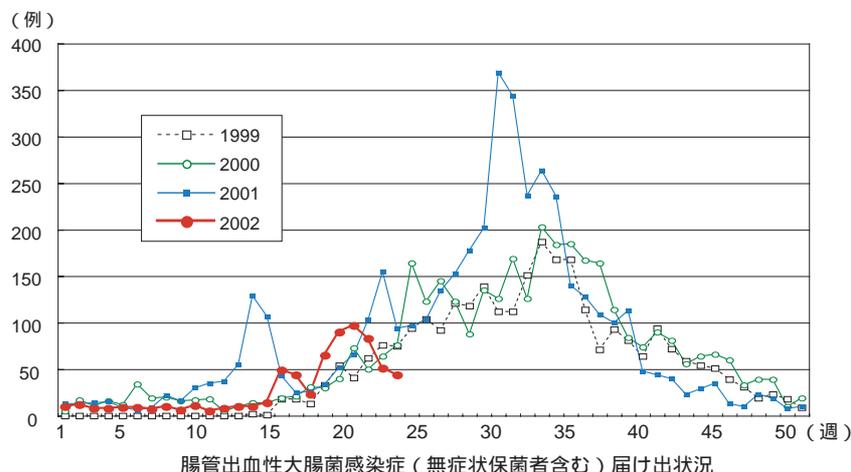
厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによれば、大きな流行の存在を示唆する「警報」は、青森県、愛知県内の各3保健所、福島県、千葉県内の各2保健所など全国計15保健所(前週より減)で発生しており、今後4週間以内に警報が生ずる可能性が高い「注意報」は、愛知県内の10保健所、岐阜県内の5保健所、秋田県、埼玉県、千葉県、神奈川県、京都府内の各3保健所など、全国計43保健所(前週より増)に発生している。

1歳を過ぎた麻疹ワクチン未接種かつ麻疹未罹患者には、ワクチンを早急に接種することが推奨される。



腸管出血性大腸菌感染症

2002年第24週の報告数は42例で(昨年の同時期は78例)うち有症者は30例であった。血清型・毒素産生については、O157・VT1+VT2が15例で最も多く、次いでO157・VT2が7例であった。第24週までの累積報告数は679例(昨年の同期は995例)となっている。累積報告数を都道府県別にみた場合、兵庫県92例、大阪府81例、佐賀県45例、岡山県42例などが多くなっている。また、累積報告数を5歳毎の年齢階級別にみると0歳、1～4歳、70歳以上は別扱い)、1～4歳159例、5～9歳110例、20～24歳48例、10～14歳47例の順である。





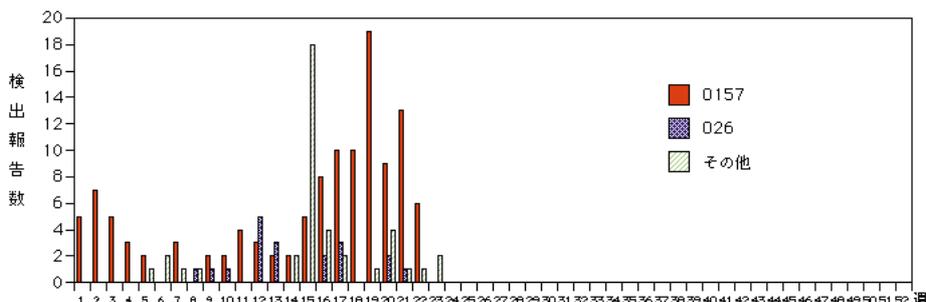
病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2002年6月21日現在報告分)

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌 2002年

Vero毒素産生性大腸菌の検出総数は179件で、うちO157が120件、O26が19件、その他の血清型40件(うち23件は、佐賀県の保育園におけるO121の集団発生)である。最近では、第22～23週に熊本市から家族内感染によりO111が3件報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2002年 (病原微生物検出情報: 2002年6月21日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



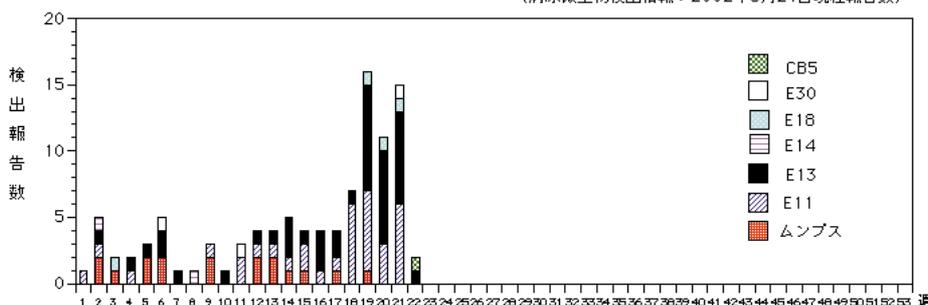
Infectious Agents Surveillance Report

無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス 2002年

エコーウイルス(E)86件(13型42、11型34、18型4、30型3、14型2、9型1)、ムンプスウイルス17件、B群コクサッキーウイルス(CB)2件(3型1、5型1)の分離が報告されている。E13は福井県(本号速報参照)、大阪府、大阪市などから報告されており、第20週以降では東京都の3件中2件、京都市の4件中2件が無菌性髄膜炎患者からの分離である。一方、E11は香川県19、高知県14と、ほとんどが四国からの分離報告である。

週別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス分離報告数、2002年

(病原微生物検出情報: 2002年6月21日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

手足口病患者から分離されたウイルス 2002年

コクサッキーウイルスA16型(CA16)47件(島根県16、福島県11、高知県11など)、エンテロウイルス71型(EV71)5件(埼玉県2、神奈川県2、高知県1)の分離が報告されている。

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス 2002年

アデノウイルス(Ad)2型17件(兵庫県4、島根県4、札幌市2、長野県2など)、3型15件(川崎市5、長野県5、愛媛県2、島根県2など)、1型6件(兵庫県3、仙台市1、新潟県1、奈良県1)、5型3件(兵庫県2、京都市1)、6型1件(北九州市)の分離が報告されている。



エコーウイルス13型による無菌性髄膜炎の流行、および県内住民の抗体保有状況 - 福井県

福井県において2001年9月11日に無菌性髄膜炎を発症した生後1カ月の患児髄液より、当時日本国内ではほとんど検出報告のなかったエコーウイルス13型(E13)が分離された。分離にはHEp-2、CaCo-2、RD-18S細胞を用いたが、いずれの細胞によっても初代培養でエンテロウイルス(EV)様の細胞変性効果(CPE)が観察可能であり、良好に増殖した(HEp-2細胞使用時の2代培養後の感染価は $10^5 \sim 10^6/0.025\text{mL}$ であった)。当初はEP95と抗EVプール血清を用いた中和試験で同定を試みたが不成立であったため、シュミットプール血清を用いたところ、明瞭にE13と同定された。また、その後購入したデンカ生研製の抗E13単味血清でも、容易に中和可能であることを確認した。

ウイルス同定直後でのE13流行報告は海外に限られており、日本国内への侵淫度が不明であったため、このE13福井株を分離した前後の福井県内住民血清(2000年秋期(9～10月採取)および2001年秋期(10～11月採取))について、E13福井株に対する中和抗体保有率調査を行った。その結果は、中和価8倍以上を抗体保有陽性とした場合の陽性率は、2000年が3.3%、2001年が3.4%と非常に低く、E13福井株分離の時期に侵淫があったとは考えにくい結果であった。住民の抗体保有率が皆無に等しいことから、今後大流行につながる可能性も予想されたため、2002年2月には、福井県結核・感染症予防対策委員会での報告や地元新聞報道などを通し、県内の医療関係者に注意を喚起した。

その後、E13の国内他地域における流行報告[2001年9月～11月の福島県(IASR Vol.22、No.12参照)、2001年11月～2002年3月の大阪市(IASR Vol.23、No.5参照)など]が相次ぎ、県内での動向に注目していたところ、2002年2月23日に採取したインフルエンザ様疾患患者由来の咽頭ぬぐい液からE13が分離された。ほぼ時を同じくして、T地区内での感染症発生動向調査において無菌性髄膜炎の患者発生報告が見られるようになり、5月にはT地区に隣接するF地区における無菌性髄膜炎患者報告数も増加し始めた。

当センターにも、F地区での患者報告数の増加にやや先立つ形で、4月23日ごろから無菌性髄膜炎患者検体が搬入されるようになった。患者分布は一般的な好発年齢とされる幼児・学童にとどまらず、年長児や大人にも及び、家族内発生が比較的目立った。検体はほとんどが髄液で、早速ウイルス分離を試みたところ、強いEV様のCPEが観察されるウイルス株(特にCaCo-2細胞使用時に増殖良好)が次々と分離された。いずれも、2001年福井株分離の時と同様、デンカ生研製の抗E13単味血清で良好に中和され、4月以降のF地区における無菌性髄膜炎流行の主要病原体はE13であることが確認された。また、2～4月にT地区内で採取・保存されていた患者検体もその後搬入され、ウイルス分離・同定作業の結果、同じくE13が流行の主体であったことが確認された。6月7日の時点で、43症例の無菌性髄膜炎患者検体を受け付けたが、そのうち32例でCPE陽性を確認し、25例がE13と同定されている。

福井県衛生環境研究センター

東方美保 中村雅子 浅田恒夫 松本和男 堀川武夫

(IASR2002年7月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

エルサルバドルでデング熱 / デング出血熱の流行

WHO/CSR 2002年6月21日

WHOは、エルサルバドルでデング熱患者が増加していると報告した。6月15日現在、1,200名のデング熱患者と101名のデング出血熱患者が検査で確認された。5～9歳の小児に最も多く感染がみられた。この流行ではデング1型ウイルスが検出された。エルサルバドルの大統領はSan Salvador, Libertad, Santa AnaおよびCabañasに緊急事態宣言を行い、その他の地域に警戒警報を出した。

政府は、保健省、教育省、内閣、国家警察および市の代表からなる対策本部を設置した。征圧活動には、ボウフラの繁殖場所の昼夜にわたる殺虫剤散布、および公衆衛生についての情報提供や教育の普及が含まれる。メキシコはこれらの対策の支援を申し出た。

コンゴで急性出血熱疑い疾患の流行 - 更新

WHO/CSR 2002年6月19日

コンゴ保健省とWHOのスタッフ3人からなるチームが、Cuvette Ouest地域、Mbomo地区で発生した急性出血熱による死者5名を含む感染疑い患者6名を調査中であるが、疑い患者6名との接触者40名を突きとめた。最後の死者が発生した6月6日以降、新たな患者は報告されていない。現地住民の協力が得られないため調査は滞っており、社会的な動員の必要性が強く求められる。

今回の集団発生の疫学的パターンと感染疑い患者の臨床症状は、この地区で前回発生したエボラ出血熱流行と一致していたが、検体が採取されてないため、検査による確定診断は行われていない。



感染症の話

クロイツフェルト・ヤコブ病

クロイツフェルト・ヤコブ病(Creutzfeldt-Jakob disease, CJD)は100万人に一人の割合で弧発性または家族性に生じ、脳組織の海綿(スポンジ)状変性を特徴とする疾患である。CJDは1920年代初頭、ドイツの神経病理学者CreutzfeldtとJakobによって記述された。現在では成因から、プリオン(prion)病、また病理から伝達性海綿状脳症(transmissible spongiform encephalopathy, TSE)として哺乳類の神経疾患群にひとくりにされている。近年、プリオン病またはTSEの感染性がクローズアップされ、社会的に認知された。

プリオン

Prionとは蛋白質性感染粒子(proteinaceous infectious particle)のことで、TSEの核酸を含まない感染性病原体をさす造語で、米国のPrusiner博士(1997年のノーベル賞受賞者)によって1982年に提唱された。Prusiner博士は10年の歳月をかけ、プリオン病の罹患脳から幅4nm、長さ数百nm程度の感染性の微細線維状物質(エイズの原因ウイルスHIV-1は直径100nmで球状)を濃縮していき、プリオン説を唱えるに至った。この微細線維状物質は現在、宿主プリオン蛋白が異常構造体へ変換され、凝集することによって形成されていると考えられている。

ヒトプリオン病

プリオン病では、異常構造を有する異常プリオン蛋白が中枢神経系に蓄積し、不可逆的な致死性神経障害を生ずる。ヒトプリオン病の大半を占めるのは弧発性CJDである。プリオンには感染性があり、感染性ヒトプリオン病としてクールー(Kuru)(新)変異型CJD(new)variant CJD, vCJD) 移植後CJDがある。クールーはニューギニアの高地に住むFore族に年間1%の高率で発症していた疾患である。1966年にGadjusekらがチンパンジーへの感染実験に成功した。彼らは続いてCJDの感染実験にも成功し、Gadjusekは1976年にノーベル賞を受賞した。

1996年に英国で発表され、ヨーロッパ及び世界中をパニックに陥れたのはvCJDである。これは牛海綿状脳症(bovine spongiform encephalopathy, BSE)に起因していると考えられている。

一方、プリオン遺伝子に変異を持ち、異常プリオン蓄積の原因となる疾患に遺伝性CJD、クールー斑状沈着を特徴とするゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー症候群(Gerstmann-Sträussler-Scheinker syndrome, GSS) また致死性家族性不眠症(fatal familial insomnia, FFI)などがある。

動物のプリオン病

動物のプリオン病には、18世紀にはすでに知られていた羊のスクレイピー(scrapie) シカ慢性消耗病(chronic wasting disease, CWD) ミンク伝達性脳症(TME) 1987年に発表され日本でも4頭見つかっているBSE、またネコ海綿状脳症(FSE)などがある。ネコや動物園のチータなどのTSEは、BSE由来の餌が原因であると考えられている。

プリオン蛋白の伝達性獲得機構

プリオン病の病因は、神経細胞表面にある正常プリオン蛋白が異常構造体へ変換後、異常プリオン蛋白の蓄積が生じ、神経細胞が変性した結果であると言われている。プリオン蛋白(prion protein, PrP)はさらに正常型(細胞型; cell)プリオン蛋白(PrP^C)と、scrapieのScを使用して異常(感染)型プリオン蛋白(PrP^{Sc})に分類されている。PrP^CはC末端部で細胞膜へ連なり、PrP^Cから

PrP^{Sc}への変換は細胞膜上、または細胞質への再取り込み後におこると信じられている。PrP^{Sc}の形成は蛋白のPrP^Cの構造的な変換によって生じるので、PrP^{Sc}の集積にはPrP^Cの存在が不可欠である。PrP^Cに多いらせん状構造(ヘリックス)が板状構造(シート)へ変換した結果、PrP^{Sc}になる。この構造変換によってプリオン蛋白は伝達性を獲得する。

異常構造の伝達は種々の宿主因子が関与しながら、異常構造体を核として正常プリオン蛋白が変換され凝集体が形成されていく数種のモデルによって説明されている。この構造変換に伴い、プリオン蛋白は伝達性に加え蛋白分解酵素耐性を獲得する。蛋白分解酵素耐性獲得のメカニズムを理解するには蛋白分解酵素をはさみとして考えると解りやすい。はさみによる切断には、対象が板状(シート)であるよりむしろらせん状(ヘリックス、ひも状)である方がむいており、プリオン蛋白の構造変化が蛋白分解酵素耐性を生じていると想像できる。

疫学

我が国を含め、世界各国の弧発性CJD有病率は同一で、人口100万人対1前後とまれな疾患である。この様に、地理的に違いがない感染症としてもCJDは特異的である。発症年齢の平均は62歳であり、女性が男性よりやや多い。大多数が弧発例で、家族性あるいは遺伝性のGSSが約10%ある。

vCJDは2002年5月までに英国で122名報告されており、今後の推移予測には数千から数万台の幅がある。他にフランスで6例、アイルランド、イタリア、米国、香港でそれぞれ1例報告されている。vCJDのリスクをふまえ、わが国では2001年3月より英国、アイルランド、スイス、スペイン、ドイツ、フランス、ポルトガル、ベルギー、オランダ、イタリアに1980年以降、通算6カ月以上の滞在歴を有する人の献血は受け付けないことになっている。

我が国の感染症発生動向調査によるCJDの報告は、1999年4～12月に87例、2000年1～12月に102例、2001年1～12月に130例(暫定データ)となっている。

臨床症状

弧発性CJDの主症状は進行性痴呆とミオクローヌスである。発病より数ヶ月で痴呆、妄想、失行が急速に進行し、筋硬直、深部腱反射亢進、病的反射陽性などが認められる。さらに起立歩行が不能になり、3～7カ月で無動性無言状態に陥る。1～2年で全身衰弱、呼吸麻痺、肺炎などで死亡する。

遺伝性CJDは弧発性CJDに似た臨床症状を示す。GSSは小脳性失調とその後の痴呆を特徴とする。

vCJDは20歳代の若年者に好発し、行動異常、感覚障害、ミオクローヌスを主症状とし、無動性無言状態に陥るのに1年を要する。

病原体

プリオンは主に、異常プリオン蛋白の凝集による幅4nm、長さ数百nm程度の感染性微細線維状物質からなり、その感染価は得られた臓器により一致しないことがあることから、プリオン以外に感染性に影響する因子が想定されている。

CJDでは一般に空気感染や経口感染はないとされている。vCJD、BSEでは病原体の経口摂取による感染が疑われている。紫外線、エタノールなどの消毒法が無効であり、手の汚染、注射針などの刺傷、感染物の眼への飛沫や手で眼をこすることなどをさける。汚染したものは焼却する

か、SDS(sodium dodecyl sulfate)を3%含む溶液中で100度、5分間以上加熱処理する(消毒法の詳細については後述)。

臨床材料はバイオセーフティレベル2(BSL-2)において扱う。プリオン病原体などの臨床材料または剖検材料からの抽出は、BSL-2内の安全キャビネット内で行う。

病原診断

異常プリオン蛋白は上記のように蛋白分解酵素に耐性を獲得するので、剖検材料(脳組織、扁桃、脾、髄膜、移植例では角膜)から蛋白分解酵素耐性の異常プリオン蛋白の同定をウエスタンブロット法やELISA法によって行う。また、蟻酸処理後に抗プリオン抗体による免疫染色を行う。わが国の食肉衛生検査所では、食肉処理を行う全てのウシの延髄乳剤をサンプルとして、ELISA法によってスクリーニングを行い、病理組織および免疫組織化学検査とウエスタンブロット法によってBSEの確定検査が行われている(2001年10月より実施)。実際に感染性を調べる高感度なバイオアッセイとして、正常プリオン蛋白を過剰に発現させたトランスジェニックマウスが開発され、短期間で発症するので有用である。脾臓には感染後40日程度で異常プリオン蛋白の集積が認められるので、有効な検索対象であることが判明している。東北大学の北本哲之教授によって開発されたマウスプリオン遺伝子をヒト型へ変更したノックインマウスも、今後活用されていくであろう。他に、尿、血液を使用した検査系の開発も進められている。

脳波は初期から基礎律動の不規則性がみられ、その後高振幅鋭徐波(PSD)が出現するのがCJDの特徴である。脳CT画像上では初期に軽度の大脳皮質の萎縮、脳室拡大がみられ、その後急速な大脳、小脳の萎縮、著明な脳室拡大、白質のびまん性低吸収域が認められる。CJD解剖例(北大分子細胞病理、長嶋和郎教授供与)の脳断面(写真1)では、大脳、小脳の脳溝拡大と全脳室の拡大が高度であり、大脳、小脳皮質が薄くなる。vCJD例では脳波のPSDはみられず、MRIで視床枕の高電子密度が特異的所見であると報告された。

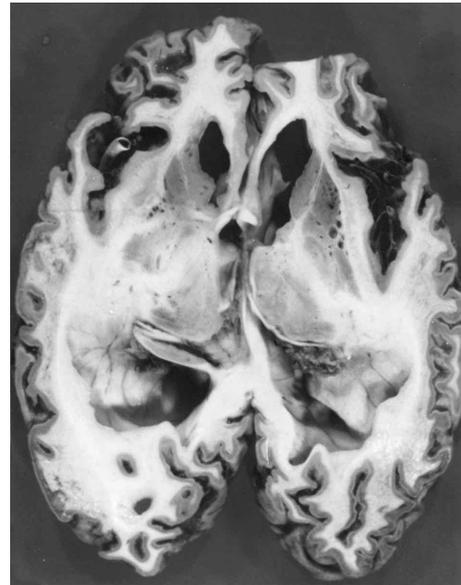


写真1. CJD解剖例の脳断面(北大分子細胞病理、長嶋和郎教授供与)

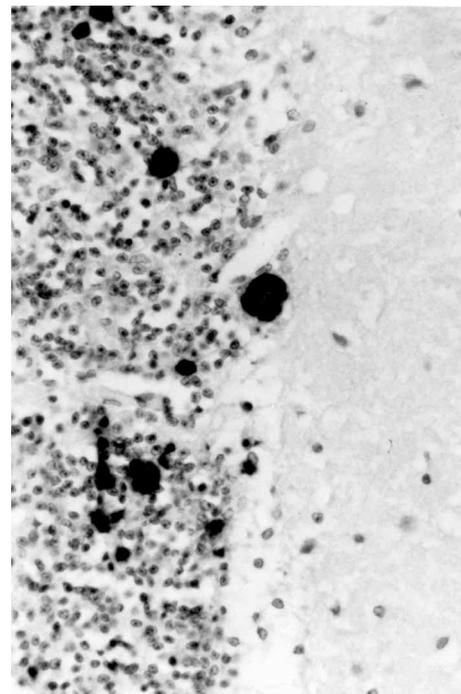


写真2. 異常プリオン蛋白からなるアミロイド斑を免疫染色した例(北大分子細胞病理、長嶋和郎教授供与)

解剖脳の病理検索では皮質の萎縮、特有の海綿状変化、神経細胞の脱落、アミロイド斑などが指標となる。異常プリオン蛋白からなるアミロイド斑を抗プリオンペプチド抗体によって免疫染色した例(北大分子細胞病理、長嶋和郎教授供与)を示す(写真2)。小脳顆粒層の境界部に抗体によって染色された部分を認める。PCRによるゲノムの解析では、血液などから抽出したゲノムDNAをもとにプリオン遺伝子のシーケンスを決定する。日本人の遺伝性プリオン病では、東北大の北本哲之教授らによってコドン102、105、145、178、180、198、200、210、217、232などに変異が発見されている。

ホルマリン固定後の蟻酸不活化処理パラフィン包埋組織については危険性がなく、室温における輸送が可能である。3%SDS中で5分以上煮沸したウエスタンブロット法のサンプルに感染性はない。器具などの汚染の不活化・消毒は困難である。消毒法としては、焼却あるいは3%SDS中で5分間煮沸、5%次亜塩素酸ナトリウム中に2時間以上、あるいは2N NaOHに1時間、室温で浸す。高圧蒸気滅菌(オートクレーブ)は132℃で1時間行うが、乾燥した器具などには適さない。

治療・予防

治療法は現在開発されておらず、対症療法が主体である。栄養の補給、関節拘縮、褥瘡、気道、尿路感染などに注意する。最近、クロルプロマジンやキナクリンなどの投与が行われ、一時的に症状の改善が得られたとする報告があるが、治癒するものではなく、今後の研究成果に期待がかかっている。

ヒツジの脳はフランスで数百年に渡り食されており、スクレイピーのヒトへの伝達は起こらないと推定されている。しかし、ヨーロッパにおいてヒツジ及びヤギにBSEが伝達している可能性が否定できないため、ヨーロッパにおけるヒツジ及びヤギ神経組織の摂食にも注意が必要である。

感染症法における取り扱い

クロイツフェルト・ヤコブ病は4類感染症全数把握疾患であり、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

孤発性CJD

1. 進行性痴呆を示し、表1に掲げる疾患を除外出来る症例。
2. ①ミオクローヌス、②錐体路又は錐体外路症状、③小脳症状又は視覚異常、④無動性無言の4項目のうち2項目以上の症状を示す症例。
3. 脳波に周期性同期性放電(PSD)を認める症例。
4. CJDに特徴的な病理所見を呈する症例、又はWestern Blot法や免疫染色法で脳に異常なプリオン蛋白を検出し得た症例。
 - ・ 疑い(possible)上記1、2を両方とも満たす症例。
 - ・ ほぼ確実(probable)上記1～3をすべて満たす症例。
 - ・ 確実(definite)上記4を満たす症例。

家族性CJD

1. 進行性痴呆を示し、表1に掲げる疾患を除外出来る症例。
2. ①ミオクローヌス、②錐体路又は錐体外路症状、③小脳症状又は視覚異常、④無動性無言の4項目のうち2項目以上の症状を示す症例。

3. 脳波に周期性同期性放電(PSD)を認める症例。
4. 疾患特異的プリオン蛋白遺伝子変異が証明された症例。
5. CJD に特徴的な病理所見を呈する症例、又はWestern Blot法や免疫染色法で脳に異常なプリオン蛋白を検出し得た症例。
 - ・ ほぼ確実(probable)上記1 ~ 4をすべて満たす症例。
 - ・ 確実(definite)上記4、5の両方を満たす症例。

新変異型CJD

1. 若年発症(平均年齢: 20歳代)で、亜急性進行性痴呆(発病してから無動性無言状態にいたるまでの臨床経過が6カ月 ~ 2年かかる)を呈し、表1に掲げる疾患を除外できる症例。
2. ①早期に出現する精神症状(不安、抑うつ、行動異常など) ②早期より認められる四肢、顔面の錯感覚又は異常感覚、③小脳症状、④ミオクローヌス、ジストニア又は舞踏運動のいずれか1つ以上の症状、⑤痴呆、⑥無動性無言の6項目のうち5項目以上の症状を示す症例。
3. 脳波にて典型的なPSDが見られない症例。
4. 医原性感染を疑わせる既往がない症例。
5. プリオン蛋白遺伝子変異が見られない症例。
6. 新変異型CJDに特徴的な病理所見(異常なプリオン蛋白からなるアミロイド斑が多数存在し、アミロイド斑の周りを海綿状態が取り囲む、いわゆるflorid plaque)を呈する、または、Western Blot法や免疫染色法で、脳もしくは扁桃に新変異型CJDに特徴的な異常なプリオン蛋白を検出し得た症例。
 - ・ 疑い(possible)上記1 ~ 5のすべてを満たす症例。
 - ・ 確実(definite)上記5、6を満たす症例。

表1. CJD(孤発性、家族性、新変異型)と鑑別を要する疾患

- ・ 老年痴呆(アルツハイマー型、脳血管障害型)
- ・ パーキンソン痴呆症候群
- ・ 脊髄小脳変性症
- ・ 痴呆を伴う運動ニューロン疾患
- ・ 単純ヘルペス、後天性免疫不全症候群などのウイルス性脳炎
- ・ 悪性リンパ腫
- ・ 梅毒
- ・ 代謝性脳症(Adrenoleukodystrophy、ウェルニッケ脳症、甲状腺疾患に伴う脳症、肝性脳症、リピドーシス等)
- ・ 低酸素脳症
- ・ その他の原因による老年期痴呆性疾患

GSS(ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー症候群)

1. 進行性小脳症状か痙性対麻痺のいずれか又は両方に、痴呆を合併し、表2に掲げる疾患を除外できる症例。
2. プリオン蛋白遺伝子に疾患特異的な変異が認められる症例。
3. 病理所見で、異常なプリオン蛋白陽性のアミロイド斑が認められる症例。
 - ・ 疑い(possible)上記1を満たす症例。

- ・ ほぼ確実(probable)上記1、2の両方を満たす症例。
- ・ 確実(definite)上記1～3のすべてを満たす症例。

表2. GSSと鑑別を要する疾患

- ・ 家族性痙性対麻痺
- ・ 脊髄小脳変性症
- ・ 老年痴呆(アルツハイマー型、脳血管障害型)
- ・ パーキンソン痴呆症候群
- ・ 痴呆を伴う運動ニューロン疾患
- ・ 代謝性脳症(Adrenoleukodystrophy、ウェルニッケ脳症、甲状腺疾患に伴う脳症、肝性脳症、リポドーシス等)
- ・ 低酸素脳症
- ・ その他の病因による老年期痴呆性疾患

FFK(致死性家族性不眠症)

1. 臨床的に頑固な不眠、記憶障害、交感神経興奮状態(高体温、発汗、頻脈など)、ミオクロームスなどを認め、表3に掲げる疾患を除外できる症例。
 2. プリオン蛋白遺伝子のコドン178変異を有する症例。
 3. 病理学的に視床の選択的海綿状変性が認められ、Western Blot法で脳に異常なプリオン蛋白を検出し得た症例。
- ・ ほぼ確実(probable)上記1、2の両方を満たす症例。
 - ・ 確実(definite)上記2、3の両方を満たす症例。

表3. FFI と鑑別を要する疾患

- ・ 視床変性症
- ・ 両側視床部血管障害
- ・ 老年痴呆(アルツハイマー型、脳血管障害型)
- ・ 代謝性脳症(Adrenoleukodystrophy、ウェルニッケ脳症、甲状腺疾患に伴う脳症、肝性脳症、リポドーシス等)
- ・ 低酸素脳症
- ・ 単純ヘルペス、後天性免疫不全症候群などのウイルス性脳炎
- ・ 悪性リンパ腫
- ・ 梅毒
- ・ その他の病因による視床症候群

《備考》

本診断基準による「疑い」は、それぞれの条件に該当する症例である。従って、「いわゆる疑似症」ではないので、留意されたい。

【参考資料】

厚生省保健医療局疾病対策課編 クロイツフェルト・ヤコブ病診療マニュアル 1997年

(国立感染症研究所感染病理部 高橋秀宗、佐多徹太郎)



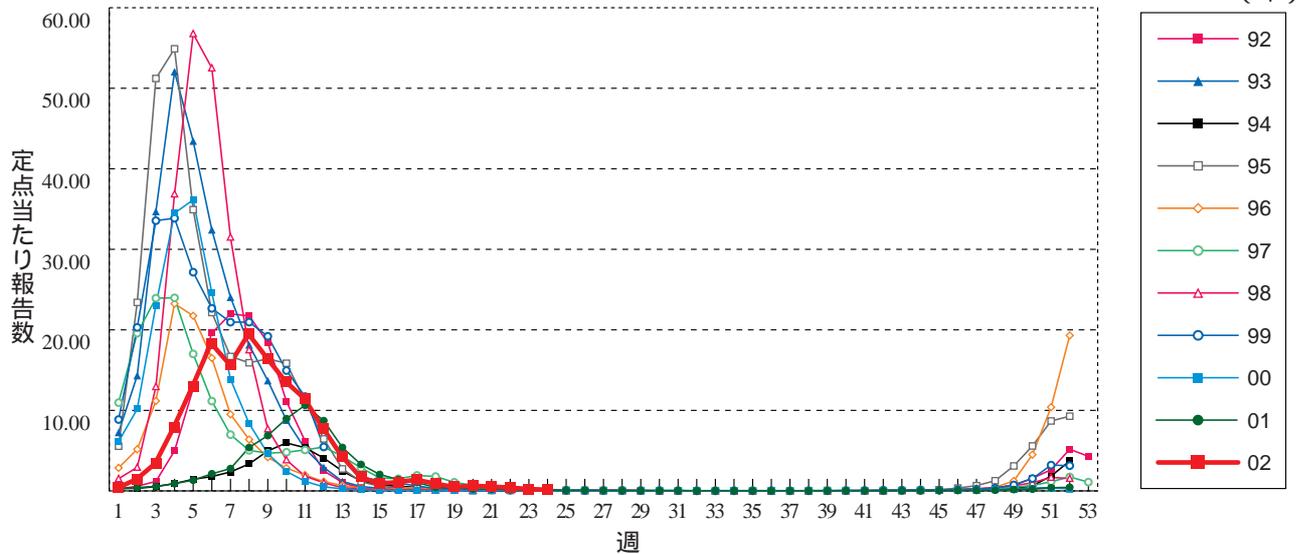
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

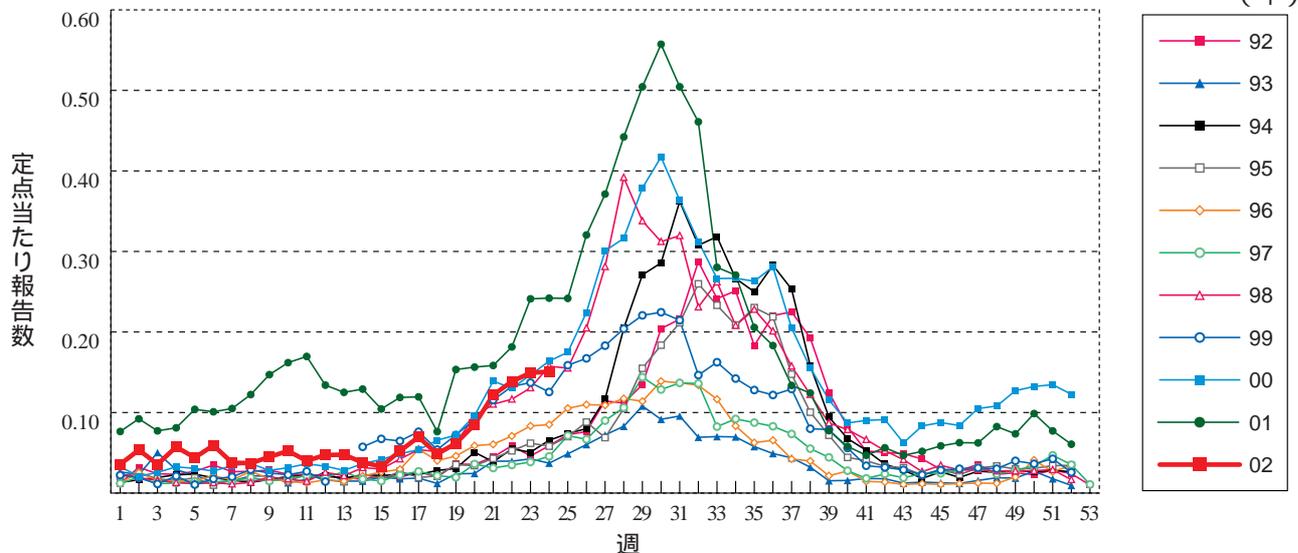
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(24週)

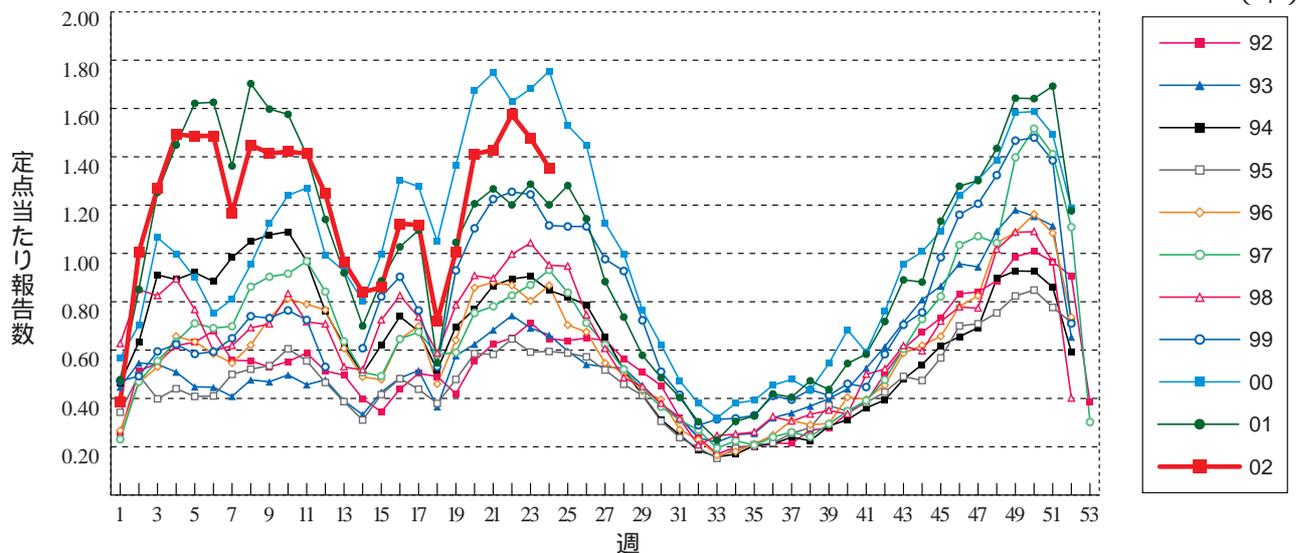
インフルエンザ



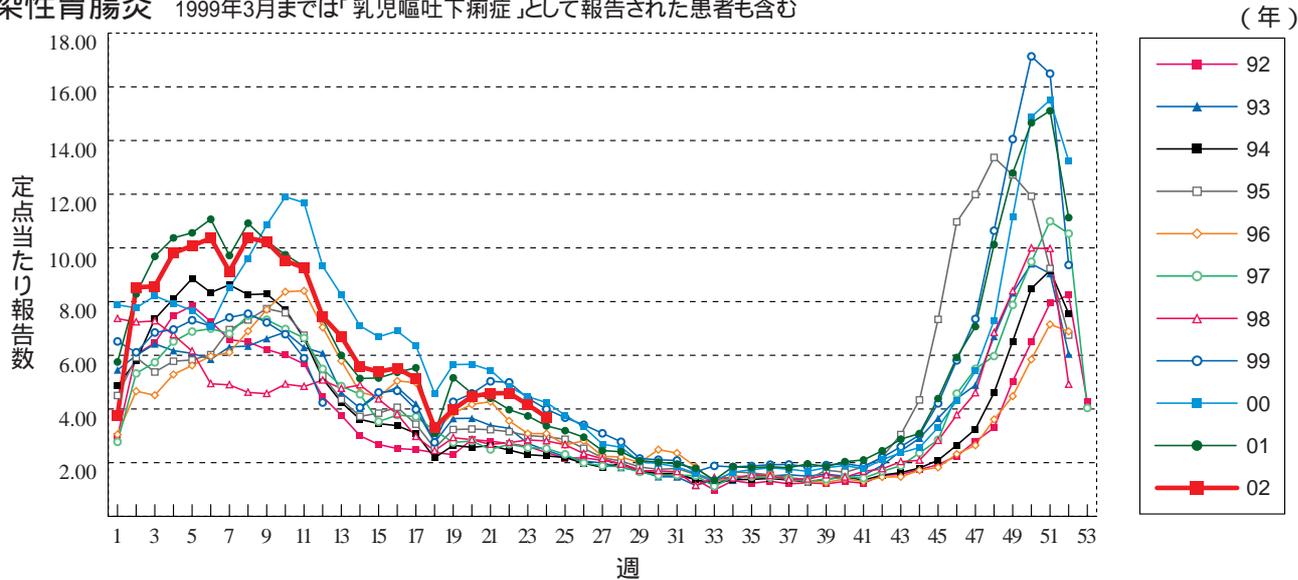
咽頭結膜熱



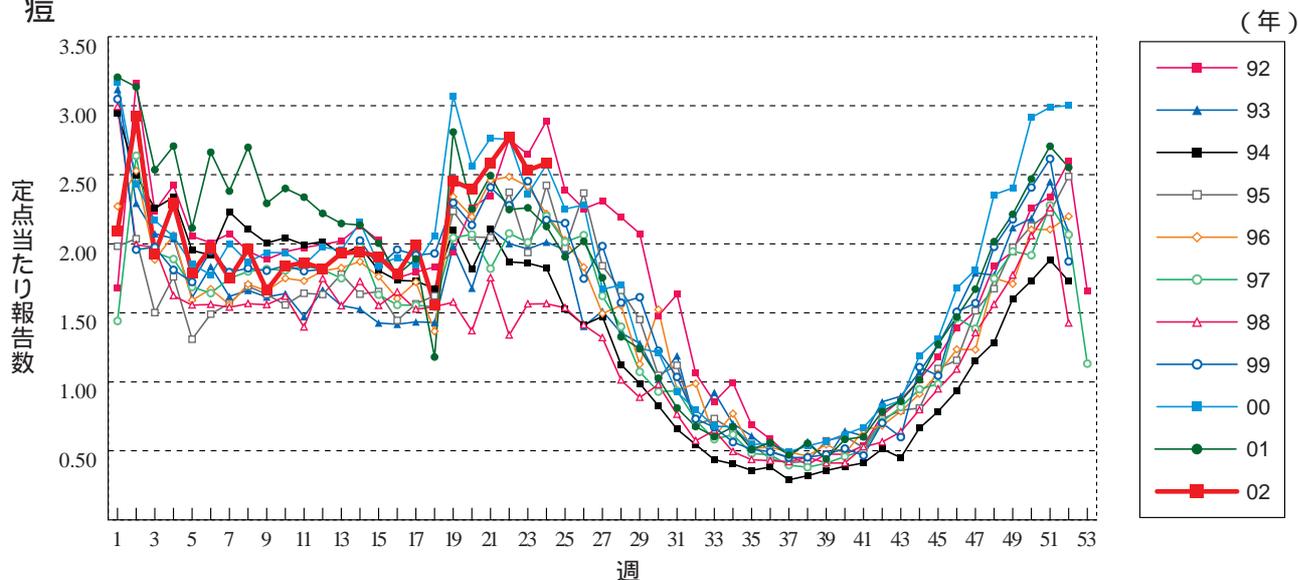
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



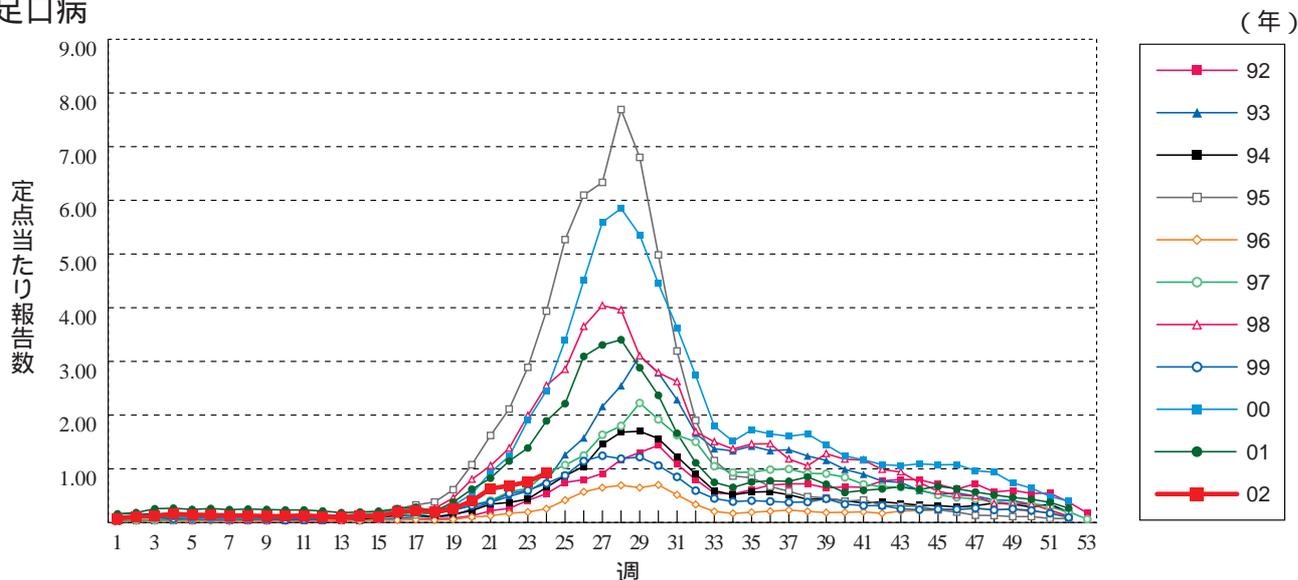
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



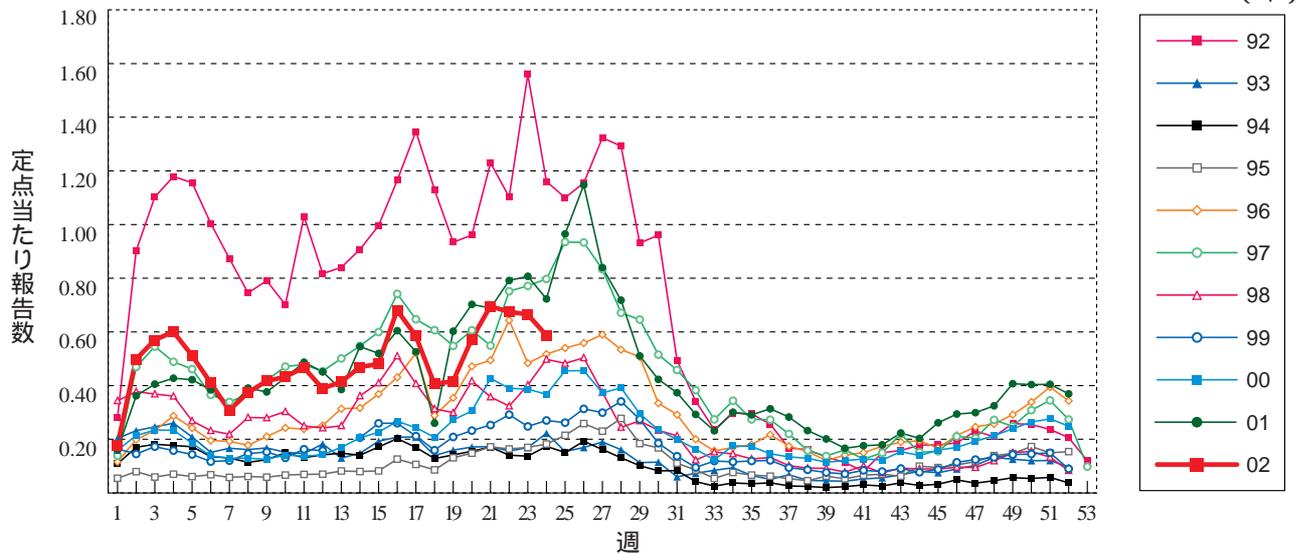
水痘



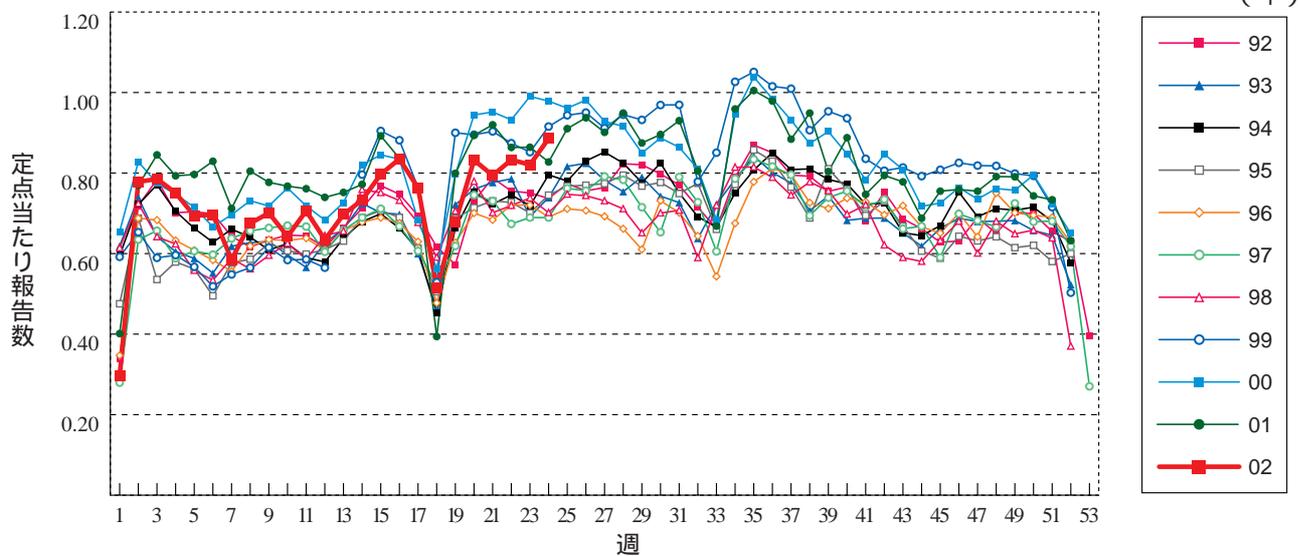
手足口病



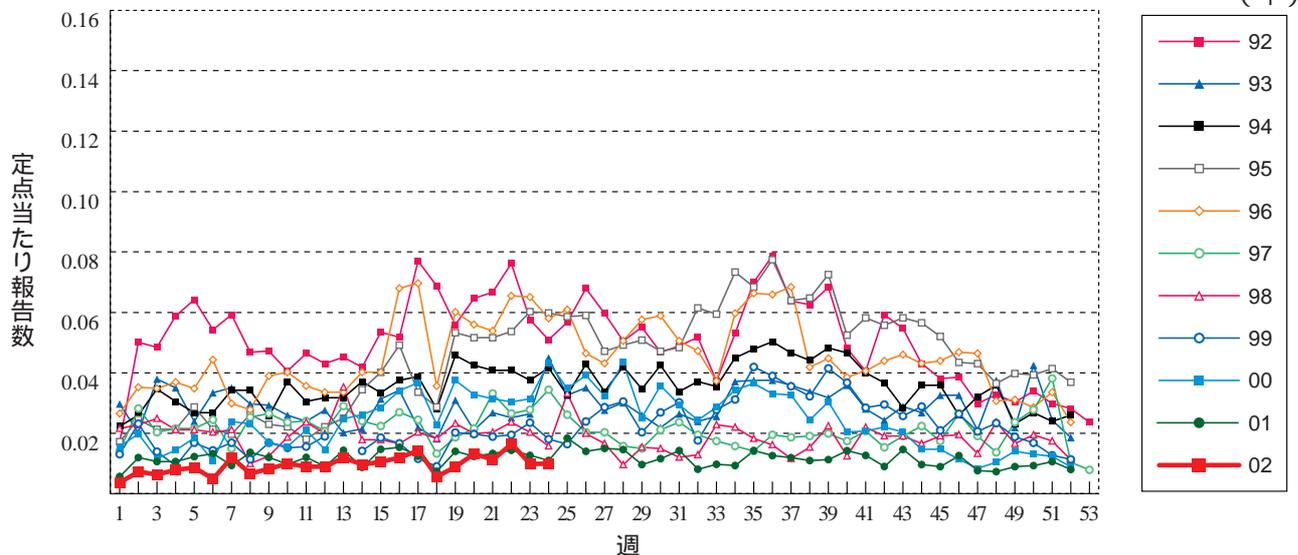
伝染性紅斑



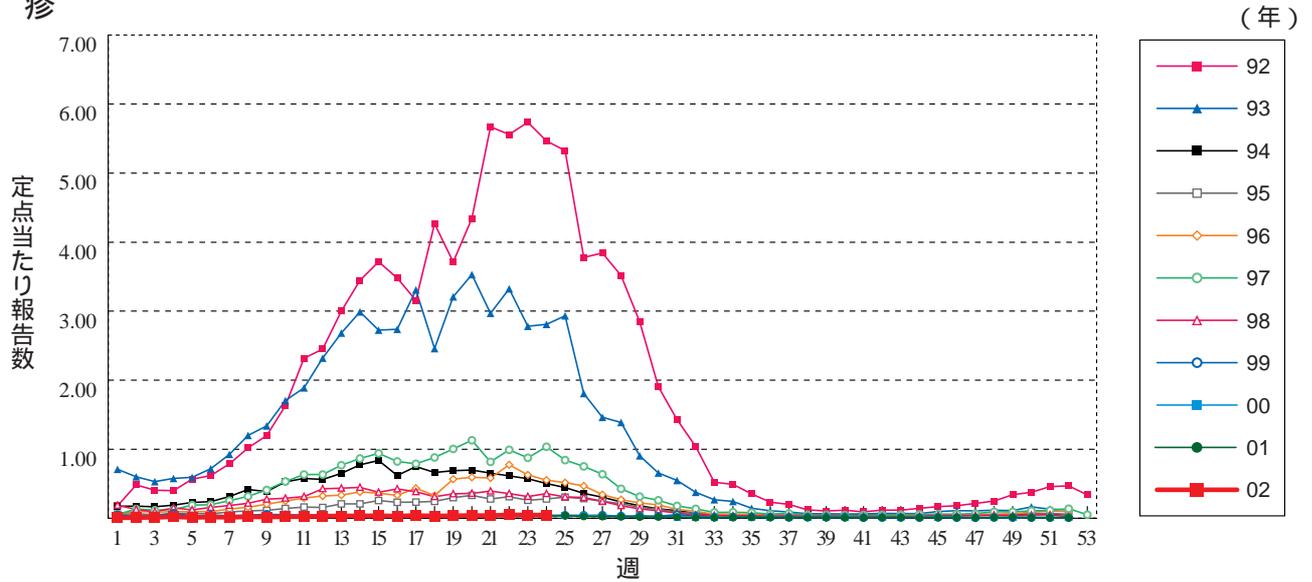
突発性発疹



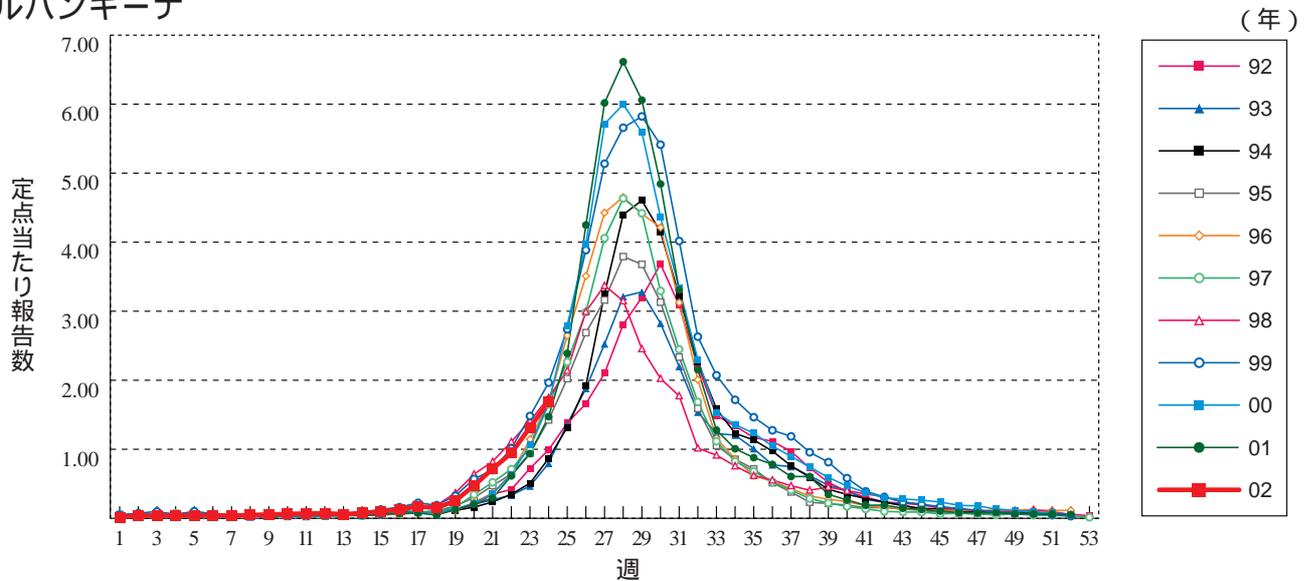
百日咳



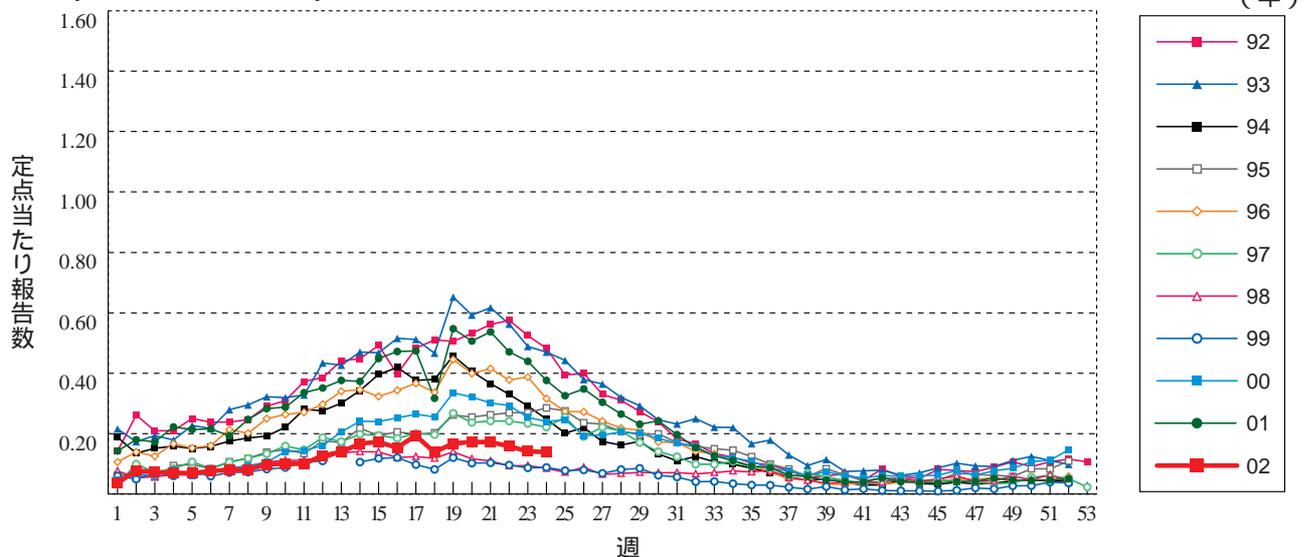
風 疹



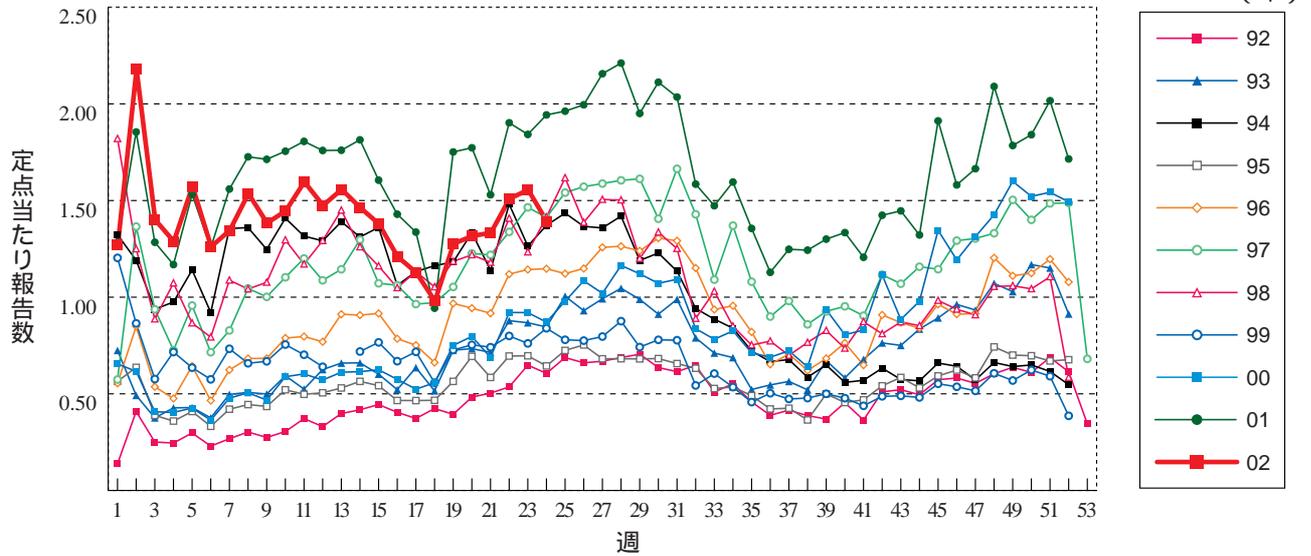
ヘルパンギーナ



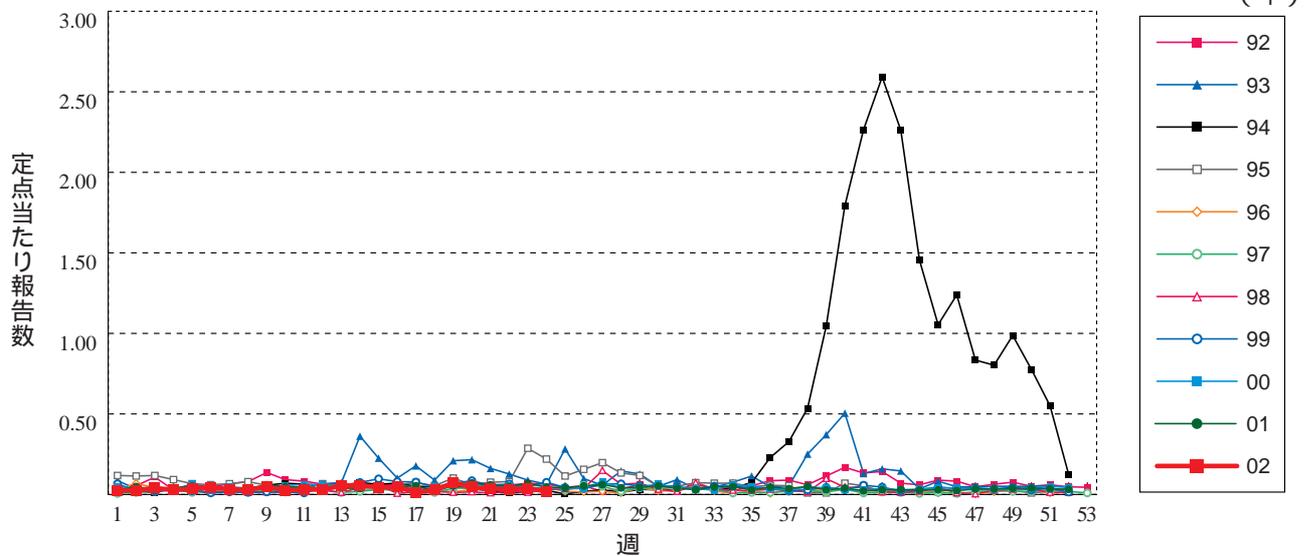
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



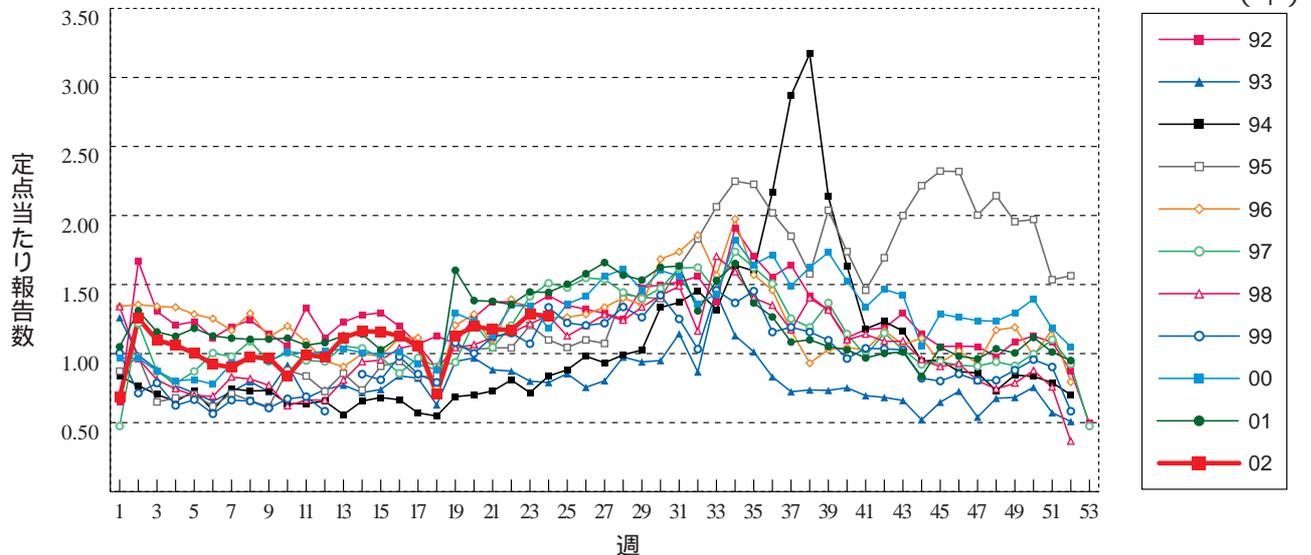
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

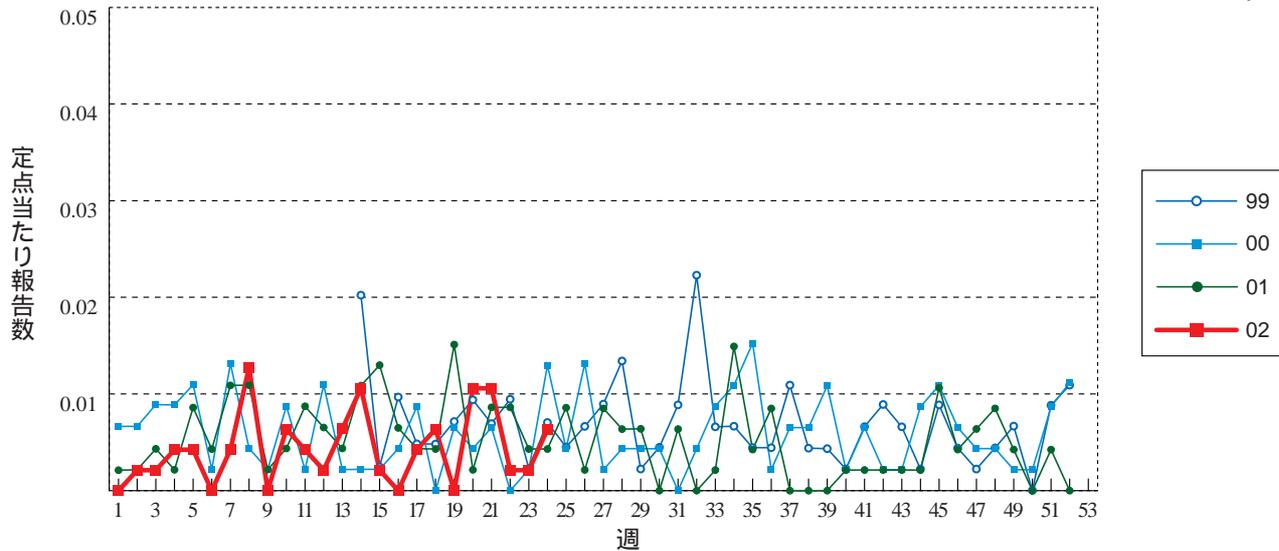


流行性角結膜炎



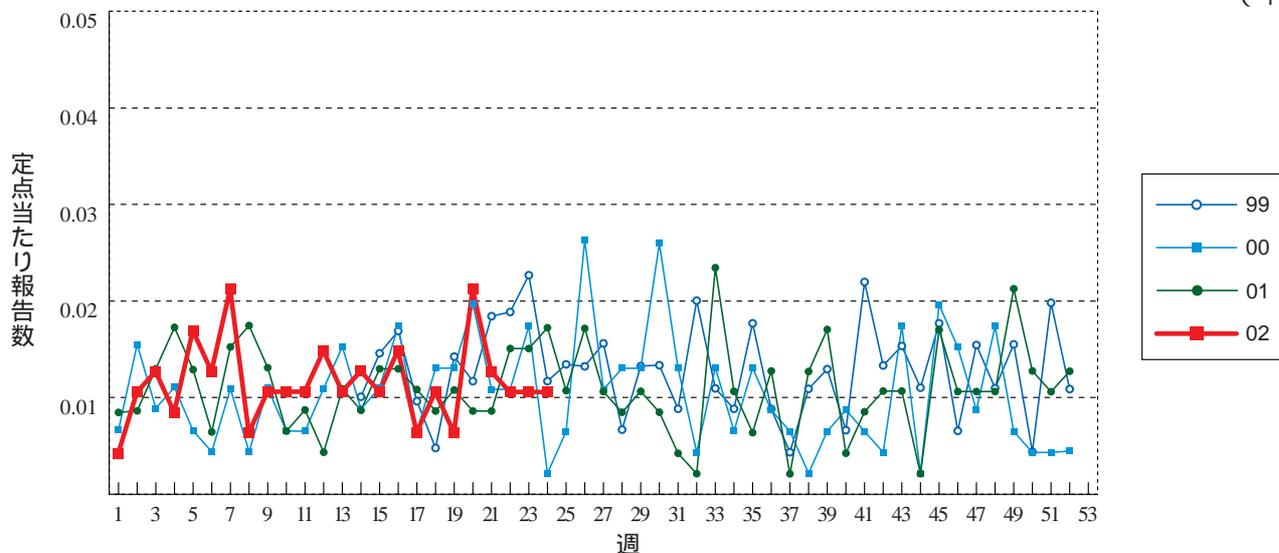
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



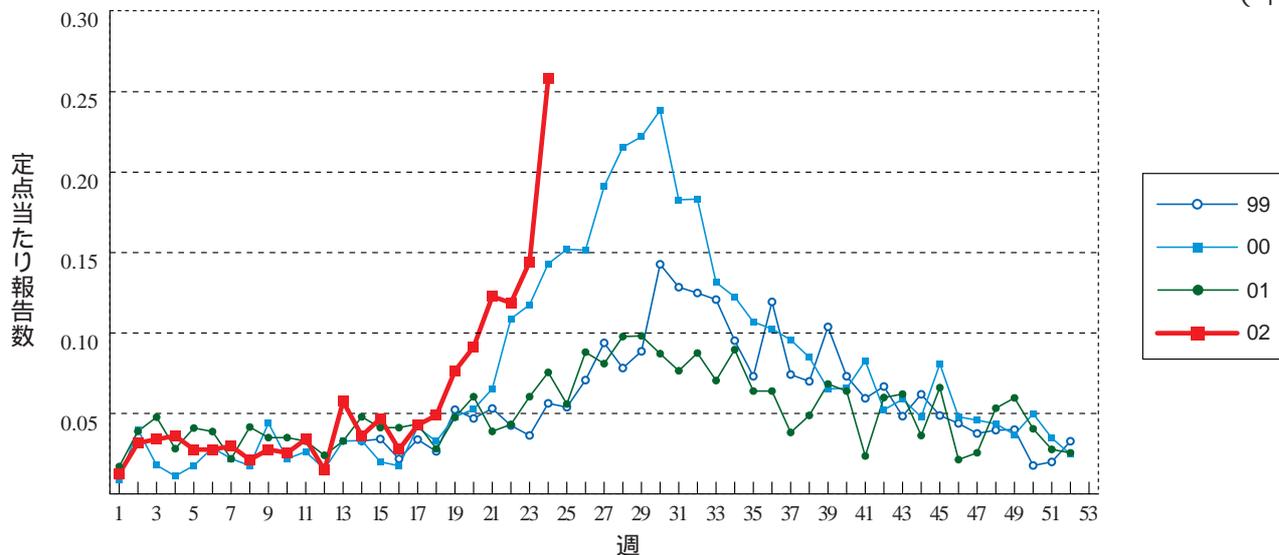
細菌性髄膜炎

(年)



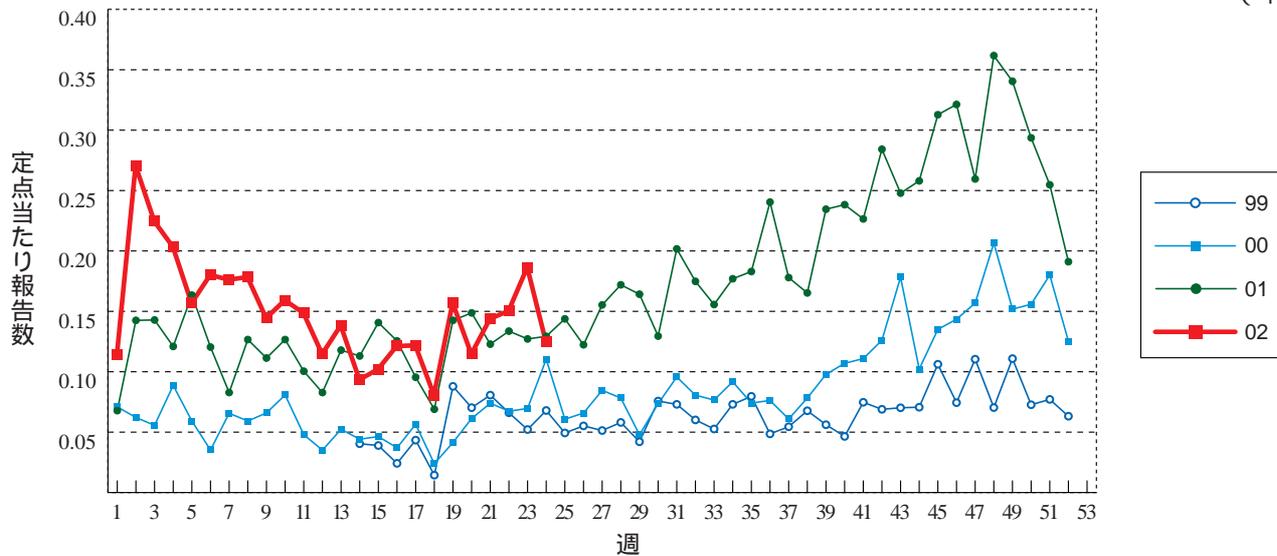
無菌性髄膜炎

(年)



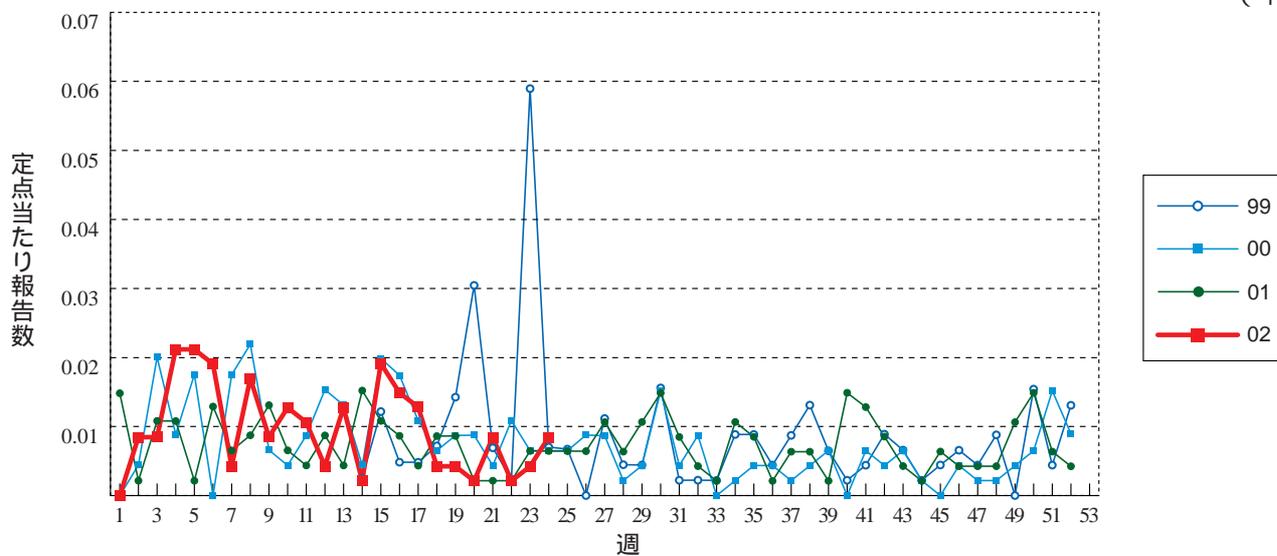
マイコプラズマ肺炎

(年)



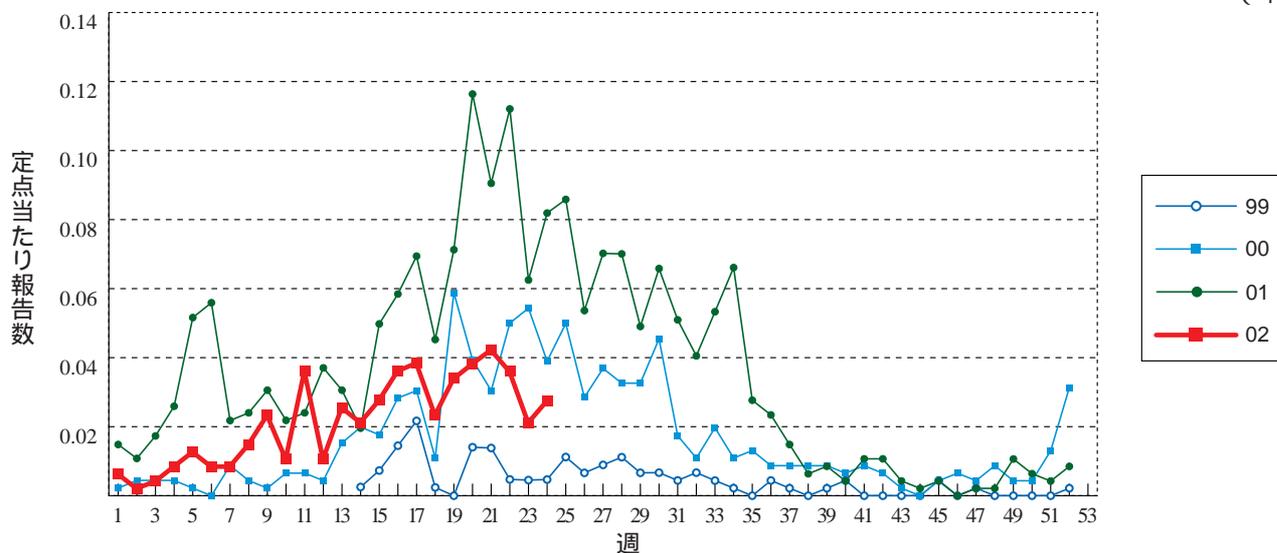
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)

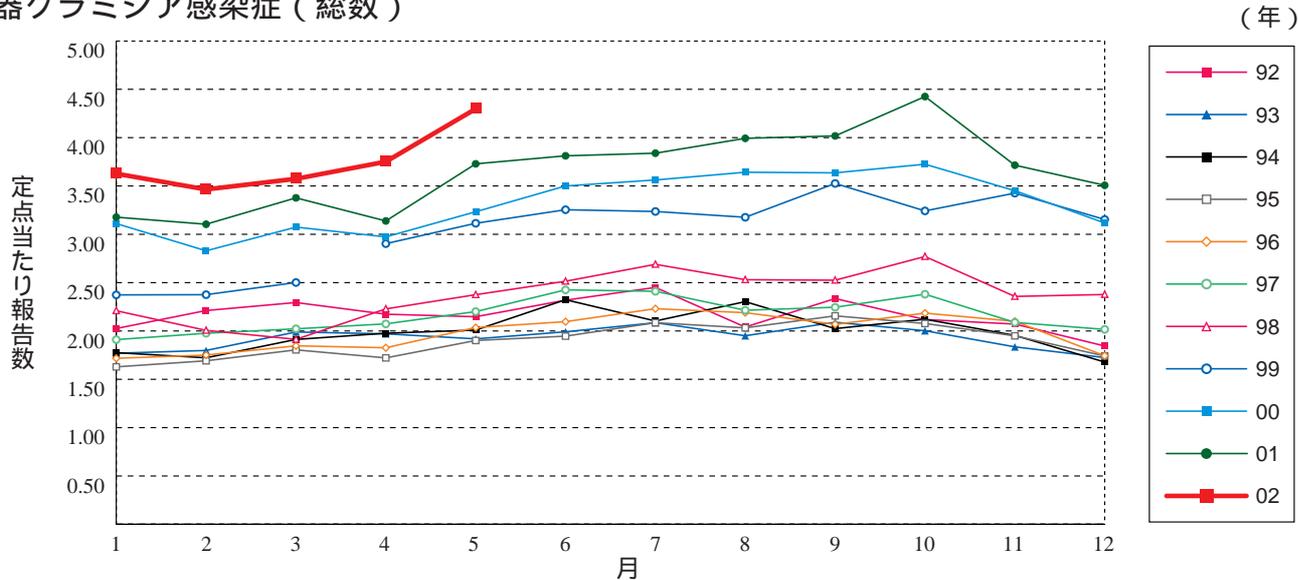




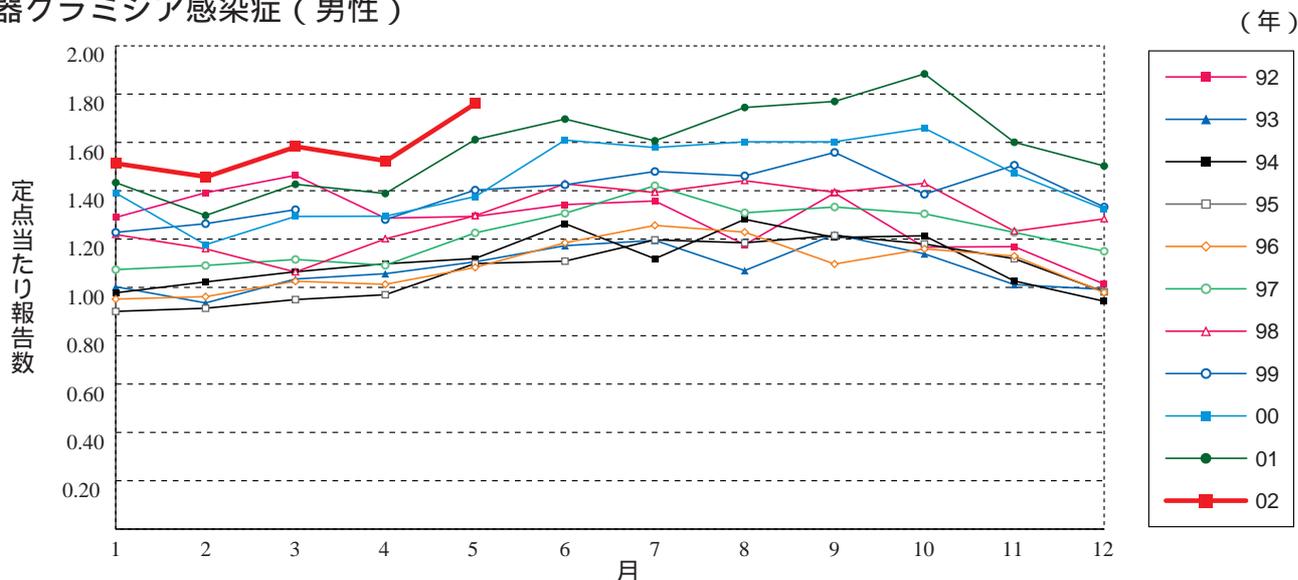
グラフ総覧(5月)

注)1999年4月以降は定点設定が変更されております。

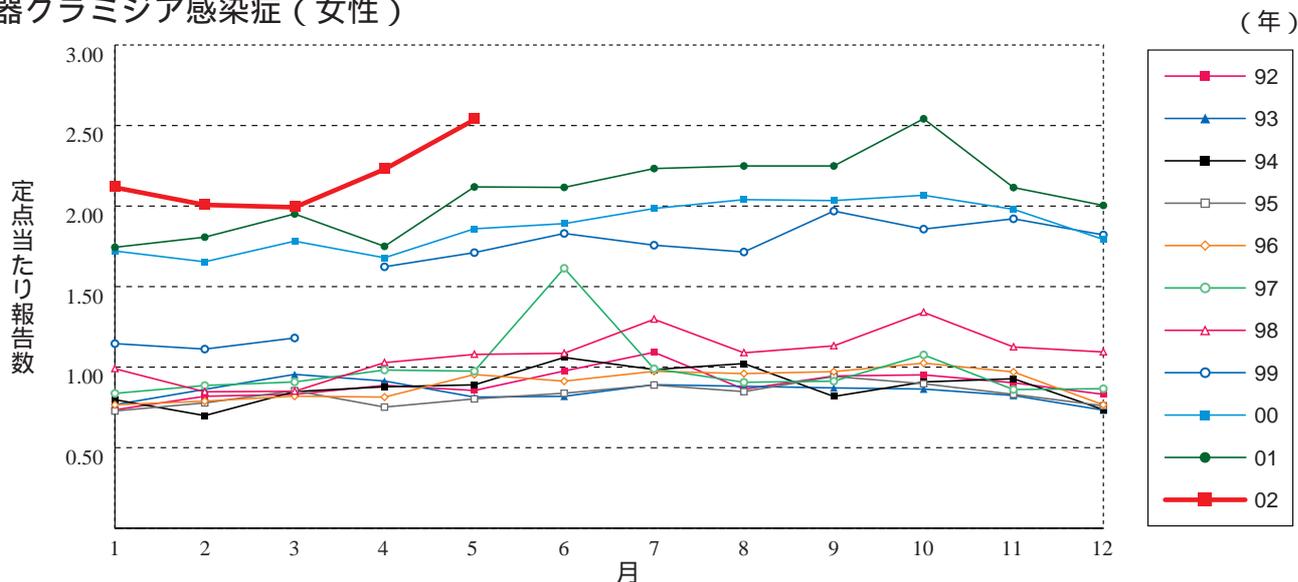
性器クラミジア感染症(総数)



性器クラミジア感染症(男性)

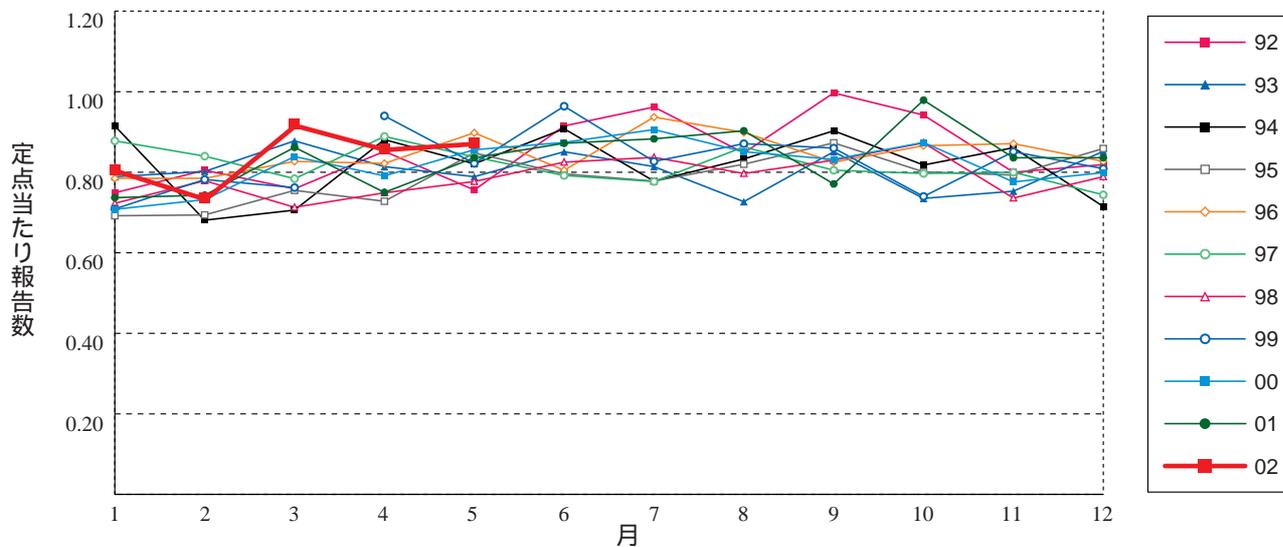


性器クラミジア感染症(女性)



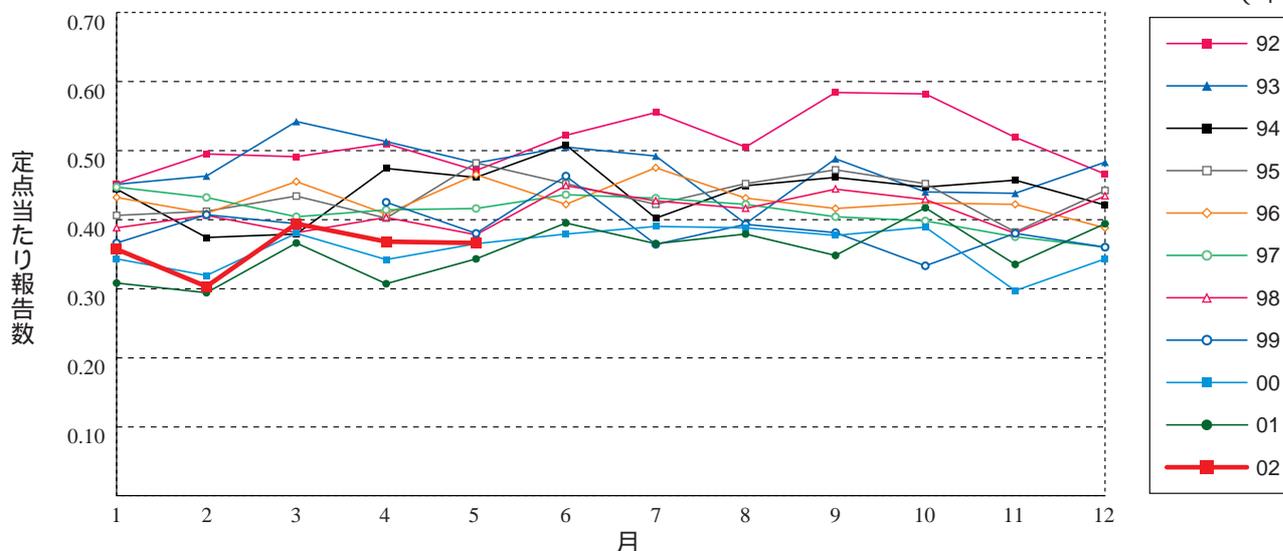
性器ヘルペスウイルス感染症（総数）

（年）



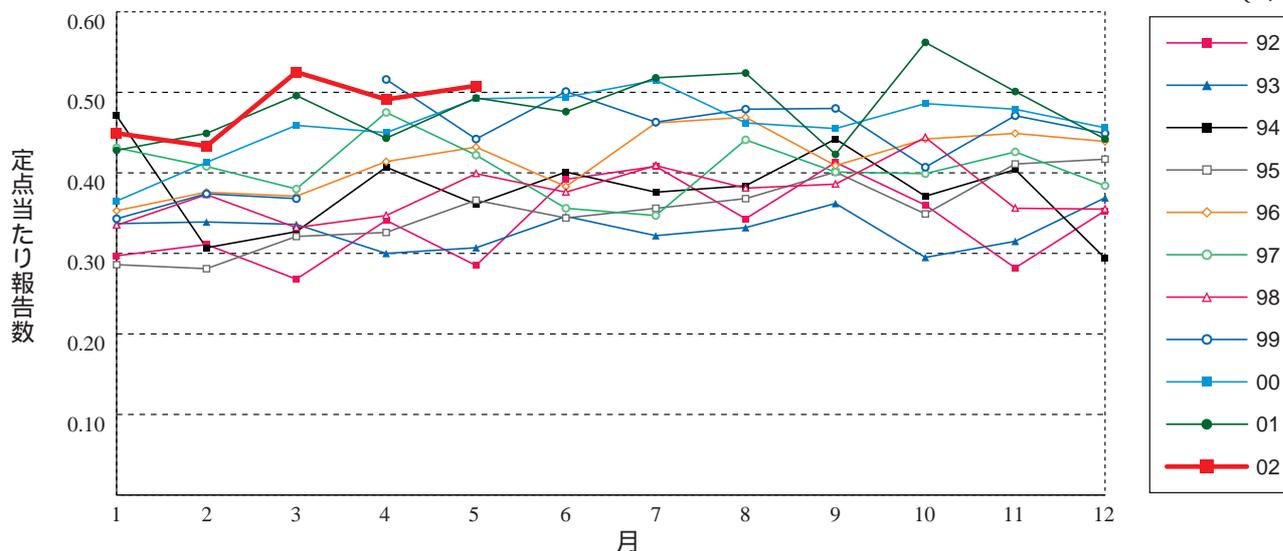
性器ヘルペスウイルス感染症（男性）

（年）

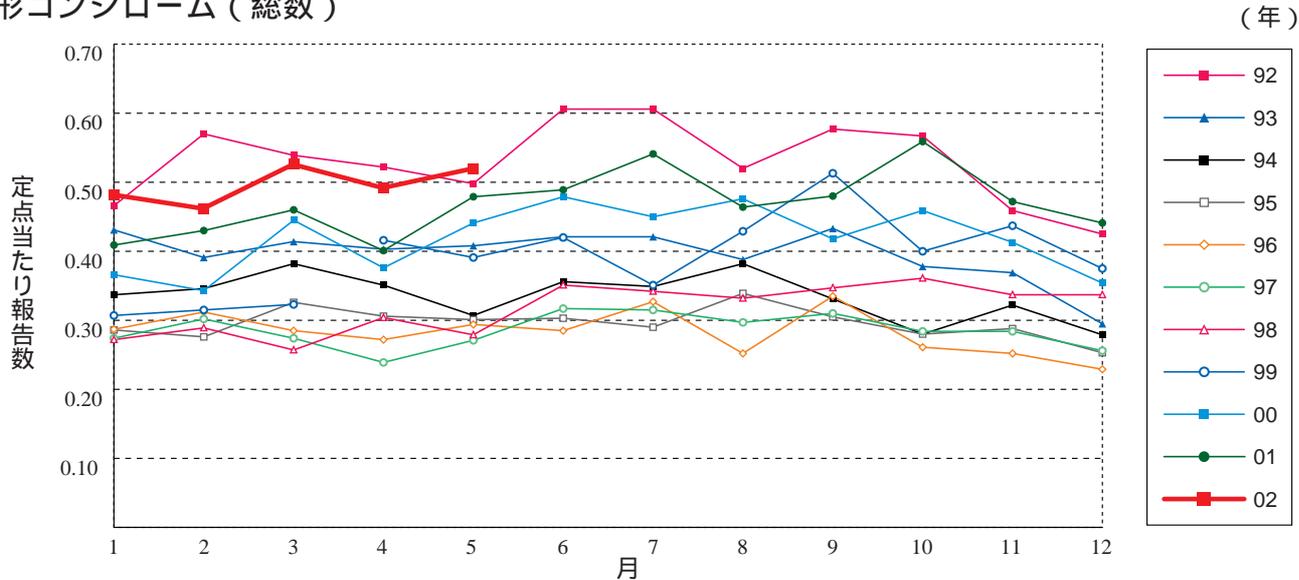


性器ヘルペスウイルス感染症（女性）

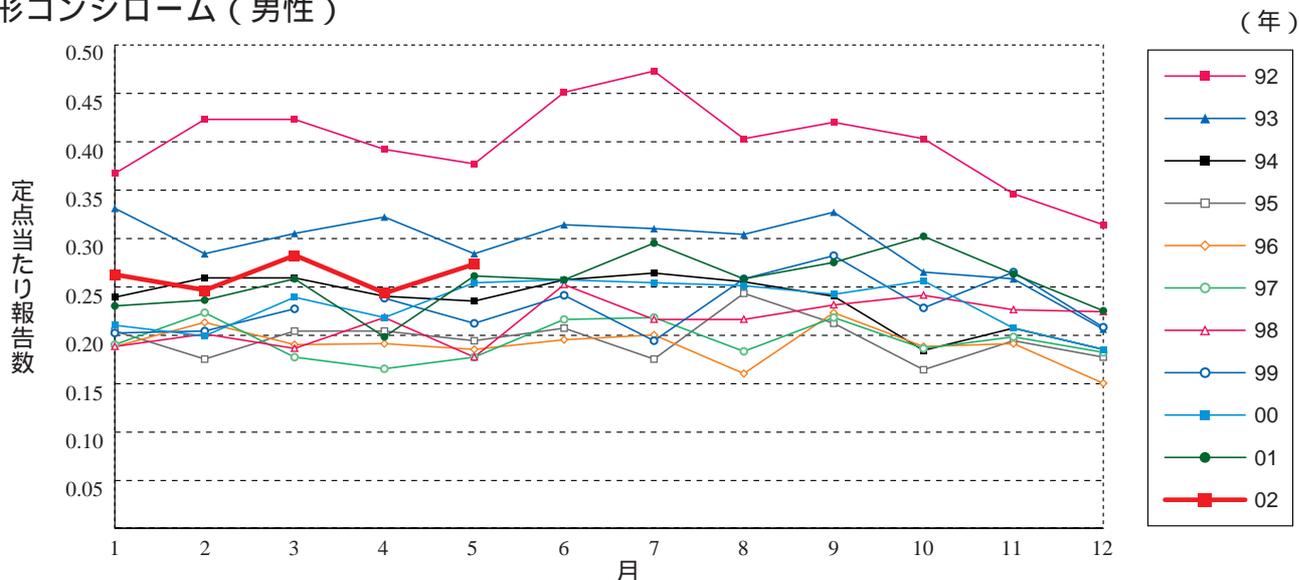
（年）



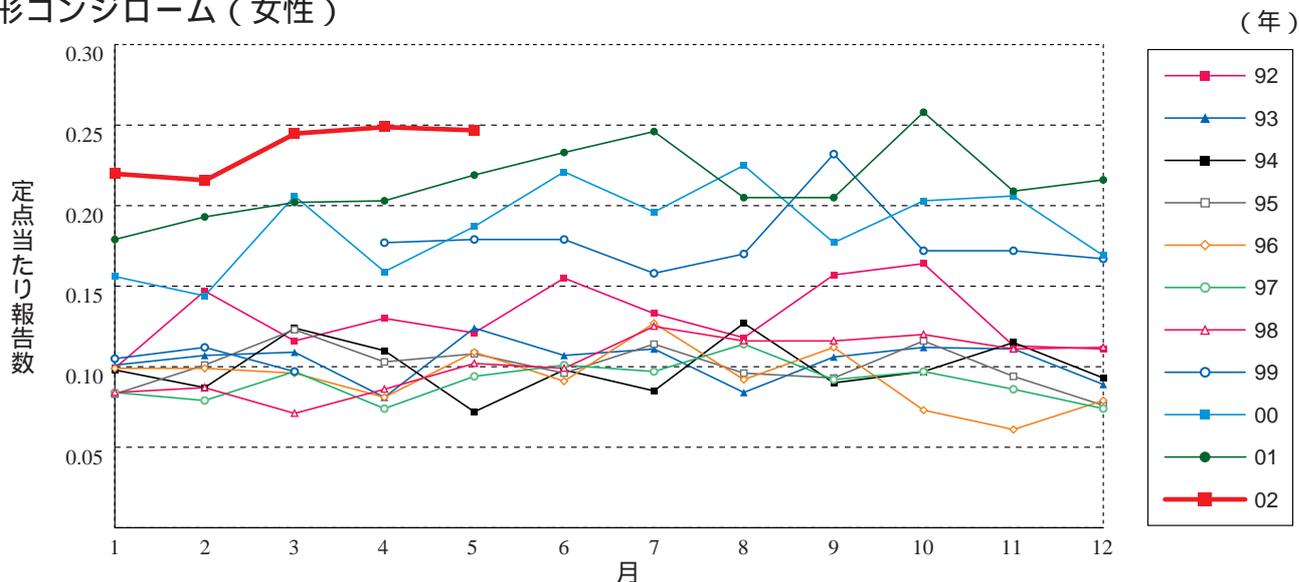
尖形コンジローム (総数)



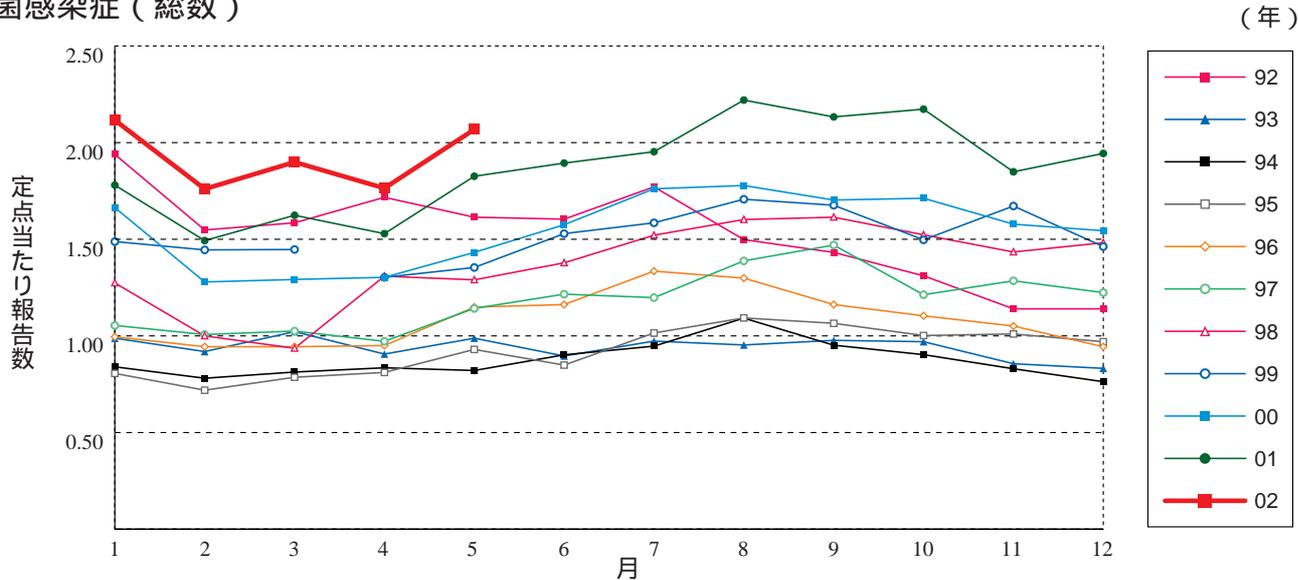
尖形コンジローム (男性)



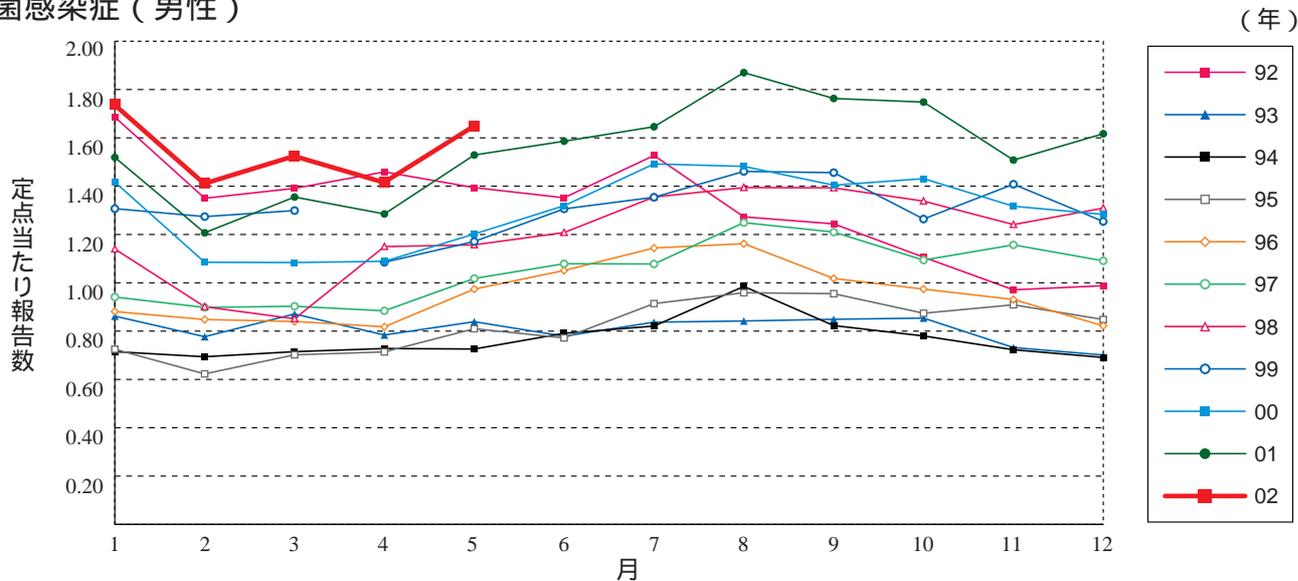
尖形コンジローム (女性)



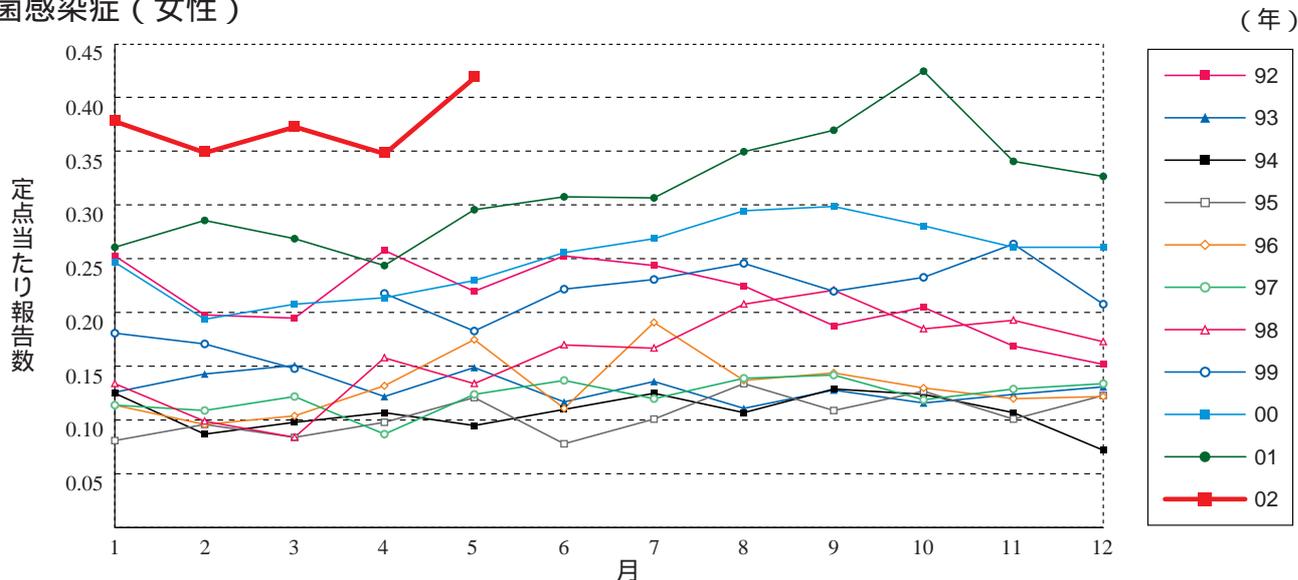
淋菌感染症 (総数)



淋菌感染症 (男性)

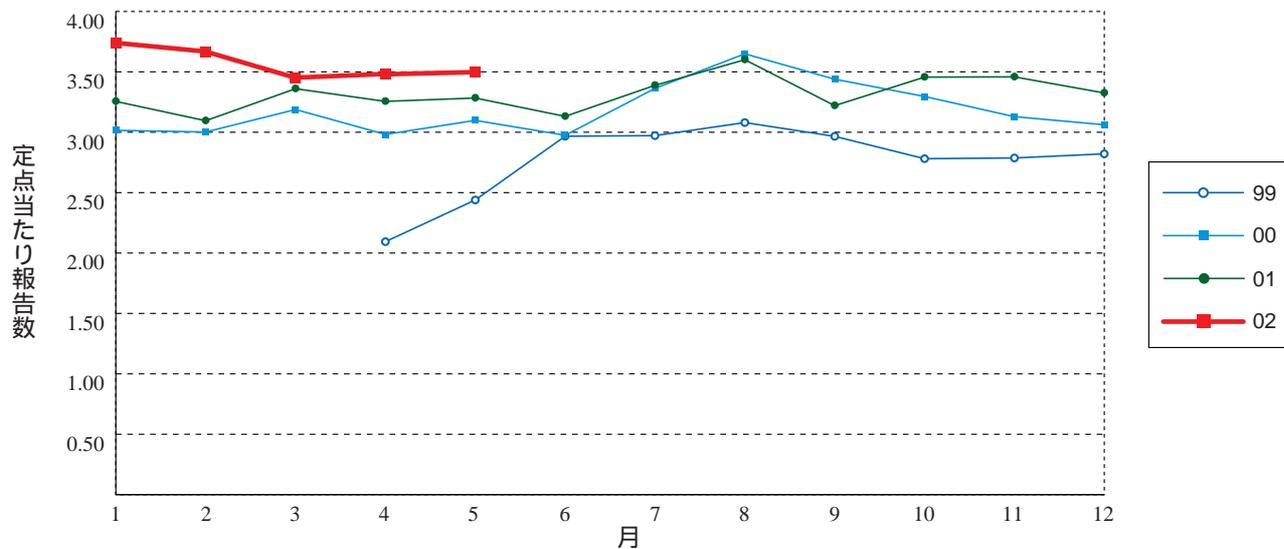


淋菌感染症 (女性)



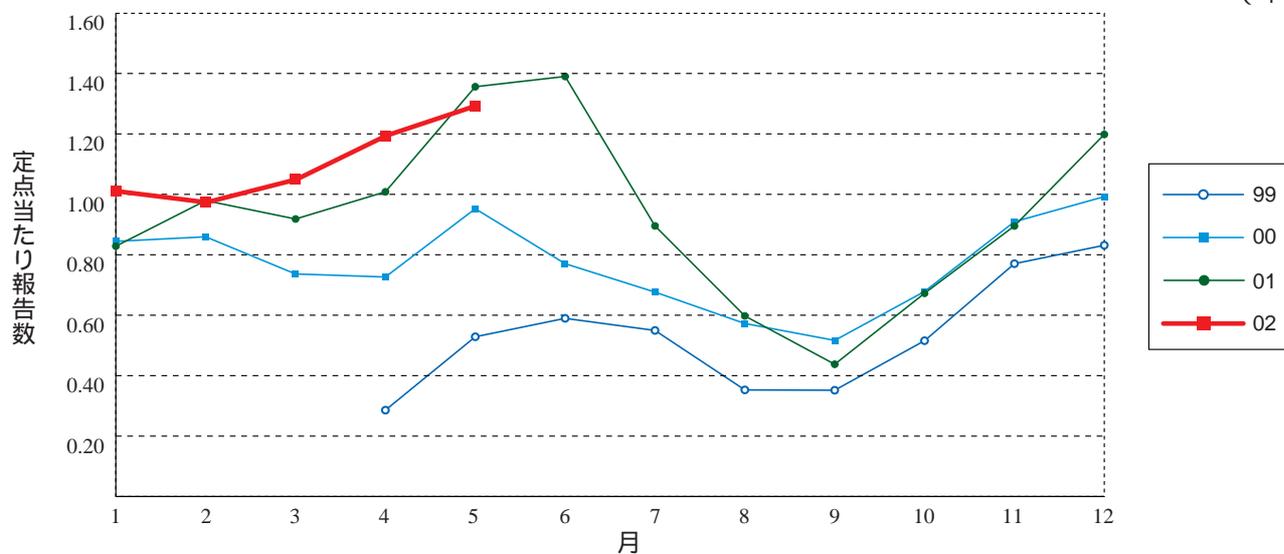
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

(年)



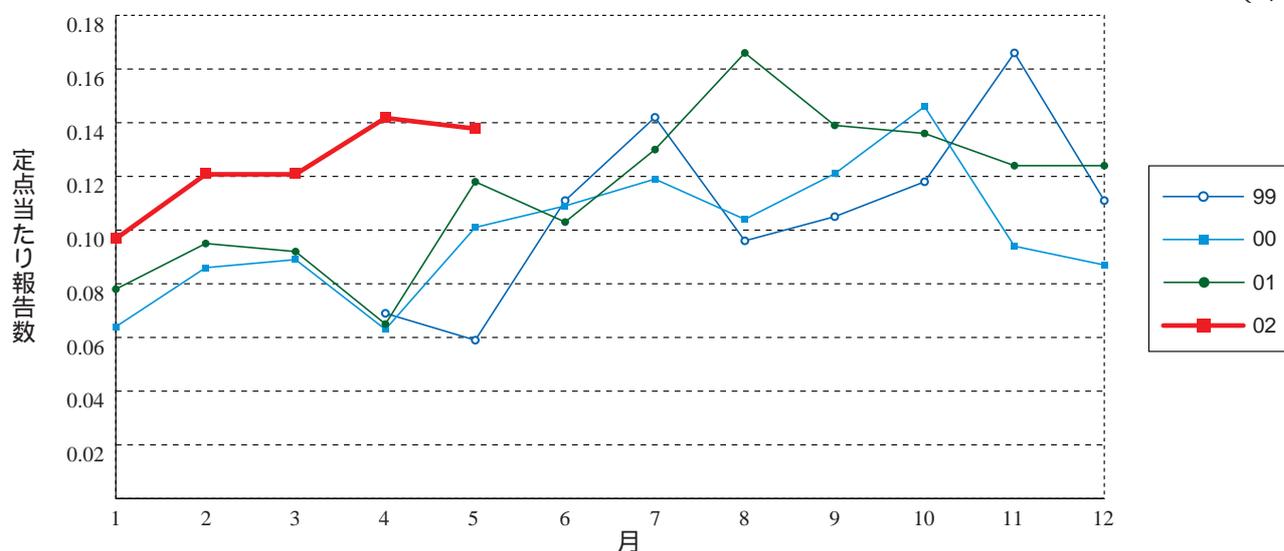
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

(年)



薬剤耐性緑膿菌感染症

(年)





5月のデータ 注)6月12日集計分

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(総数)

平成14年5月

	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	3940	4.31	800	0.87	476	0.52	1893	2.07	1619	3.50	599	1.29	64	0.14
北海道	269	6.40	37	0.88	31	0.74	145	3.45	60	2.61	7	0.30	1	0.04
青森県	66	5.50	15	1.25	5	0.42	23	1.92	5	0.83	-	-	-	-
岩手県	105	8.08	15	1.15	11	0.85	39	3.00	63	3.15	53	2.65	2	0.10
宮城県	90	5.00	30	1.67	13	0.72	52	2.89	53	4.42	27	2.25	3	0.25
秋田県	31	2.21	3	0.21	6	0.43	9	0.64	14	1.75	8	1.00	-	-
山形県	35	3.50	2	0.20	2	0.20	10	1.00	30	3.00	19	1.90	1	0.10
福島県	55	3.44	2	0.13	2	0.13	49	3.06	6	0.86	1	0.14	-	-
茨城県	72	3.43	17	0.81	14	0.67	49	2.33	15	1.36	-	-	-	-
栃木県	86	5.38	4	0.25	5	0.31	67	4.19	17	2.43	-	-	1	0.14
群馬県	165	6.60	22	0.88	12	0.48	48	1.92	37	3.70	11	1.10	-	-
埼玉県	195	3.90	25	0.50	20	0.40	70	1.40	30	3.33	5	0.56	1	0.11
千葉県	144	3.60	30	0.75	14	0.35	52	1.30	58	6.44	55	6.11	-	-
東京都	213	5.20	87	2.12	37	0.90	96	2.34	151	7.55	44	2.20	12	0.60
神奈川県	174	2.90	33	0.55	14	0.23	94	1.57	23	2.09	27	2.45	-	-
新潟県	49	2.45	4	0.20	7	0.35	44	2.20	64	4.92	46	3.54	-	-
富山県	21	3.00	5	0.71	3	0.43	8	1.14	38	7.60	27	5.40	-	-
石川県	24	2.40	10	1.00	1	0.10	8	0.80	8	1.60	8	1.60	-	-
福井県	15	3.00	3	0.60	1	0.20	3	0.60	25	4.17	20	3.33	2	0.33
山梨県	16	2.67	2	0.33	1	0.17	2	0.33	14	1.40	17	1.70	1	0.10
長野県	59	3.69	9	0.56	21	1.31	23	1.44	37	3.36	8	0.73	-	-
岐阜県	31	2.07	5	0.33	4	0.27	15	1.00	14	2.80	-	-	-	-
静岡県	102	3.40	11	0.37	4	0.13	27	0.90	33	3.30	14	1.40	2	0.20
愛知県	218	4.27	45	0.88	28	0.55	146	2.86	52	4.00	-	-	-	-
三重県	27	2.08	5	0.38	-	-	19	1.46	38	4.75	2	0.25	1	0.13
滋賀県	16	1.78	4	0.44	2	0.22	2	0.22	33	5.50	-	-	-	-
京都府	146	6.95	12	0.57	6	0.29	8	0.38	4	0.57	-	-	-	-
大阪府	375	6.36	156	2.64	94	1.59	213	3.61	33	2.36	33	2.36	-	-
兵庫県	118	2.57	20	0.43	19	0.41	45	0.98	51	3.64	6	0.43	-	-
奈良県	30	3.33	1	0.11	5	0.56	23	2.56	43	7.17	13	2.17	1	0.17
和歌山県	5	0.63	8	1.00	1	0.13	5	0.63	29	2.64	5	0.45	2	0.18
鳥取県	17	3.40	-	-	1	0.20	5	1.00	22	4.40	1	0.20	-	-
島根県	8	1.33	-	-	-	-	6	1.00	32	4.00	16	2.00	-	-
岡山県	94	5.53	14	0.82	9	0.53	61	3.59	13	2.60	-	-	3	0.60
広島県	61	2.26	15	0.56	14	0.52	36	1.33	108	5.14	60	2.86	6	0.29
山口県	28	2.80	9	0.90	3	0.30	17	1.70	36	5.14	20	2.86	1	0.14
徳島県	4	0.67	1	0.17	-	-	-	-	16	2.29	-	-	1	0.14
香川県	44	4.89	5	0.56	4	0.44	10	1.11	30	6.00	10	2.00	-	-
愛媛県	38	3.45	2	0.18	3	0.27	15	1.36	6	1.00	1	0.17	1	0.17
高知県	12	2.00	2	0.33	-	-	8	1.33	77	9.63	2	0.25	14	1.75
福岡県	324	8.76	56	1.51	38	1.03	187	5.05	30	1.88	5	0.31	-	-
佐賀県	16	2.29	4	0.57	1	0.14	12	1.71	23	3.83	-	-	1	0.17
長崎県	23	2.88	17	2.13	5	0.63	13	1.63	3	0.27	1	0.09	1	0.09
熊本県	102	7.29	13	0.93	7	0.50	22	1.57	44	2.93	5	0.33	2	0.13
大分県	11	1.10	14	1.40	4	0.40	11	1.10	34	3.40	19	1.90	1	0.10
宮崎県	85	7.73	12	1.09	-	-	39	3.55	25	3.57	1	0.14	3	0.43
鹿児島県	66	4.13	13	0.81	-	-	42	2.63	18	1.50	1	0.08	-	-
沖縄県	55	4.58	1	0.08	4	0.33	15	1.25	24	3.43	1	0.14	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(男)

平成14年5月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	1613	1.76	335	0.37	250	0.27	1509	1.65	1065	2.30	345	0.75	53	0.11
北海道	73	1.74	9	0.21	9	0.21	71	1.69	40	1.74	4	0.17	1	0.04
青森県	28	2.33	6	0.50	3	0.25	18	1.50	5	0.83	-	-	-	-
岩手県	39	3.00	5	0.38	4	0.31	36	2.77	43	2.15	34	1.70	2	0.10
宮城県	46	2.56	11	0.61	6	0.33	48	2.67	33	2.75	15	1.25	1	0.08
秋田県	9	0.64	1	0.07	1	0.07	8	0.57	8	1.00	5	0.63	-	-
山形県	12	1.20	-	-	1	0.10	8	0.80	22	2.20	7	0.70	1	0.10
福島県	31	1.94	2	0.13	2	0.13	46	2.88	3	0.43	-	-	-	-
茨城県	43	2.05	9	0.43	12	0.57	45	2.14	8	0.73	-	-	-	-
栃木県	49	3.06	2	0.13	3	0.19	59	3.69	9	1.29	-	-	1	0.14
群馬県	87	3.48	9	0.36	8	0.32	39	1.56	24	2.40	5	0.50	-	-
埼玉県	60	1.20	8	0.16	14	0.28	50	1.00	24	2.67	5	0.56	-	-
千葉県	55	1.38	13	0.33	8	0.20	45	1.13	40	4.44	25	2.78	-	-
東京都	117	2.85	29	0.71	24	0.59	74	1.80	98	4.90	28	1.40	10	0.50
神奈川県	85	1.42	19	0.32	9	0.15	88	1.47	11	1.00	12	1.09	-	-
新潟県	23	1.15	4	0.20	4	0.20	41	2.05	35	2.69	33	2.54	-	-
富山県	9	1.29	3	0.43	-	-	6	0.86	26	5.20	18	3.60	-	-
石川県	13	1.30	3	0.30	1	0.10	8	0.80	6	1.20	3	0.60	-	-
福井県	6	1.20	3	0.60	1	0.20	3	0.60	21	3.50	12	2.00	2	0.33
山梨県	4	0.67	-	-	1	0.17	1	0.17	10	1.00	11	1.10	1	0.10
長野県	17	1.06	4	0.25	2	0.13	19	1.19	27	2.45	5	0.45	-	-
岐阜県	20	1.33	3	0.20	4	0.27	13	0.87	7	1.40	-	-	-	-
静岡県	31	1.03	3	0.10	2	0.07	19	0.63	17	1.70	9	0.90	2	0.20
愛知県	118	2.31	23	0.45	21	0.41	136	2.67	35	2.69	-	-	-	-
三重県	13	1.00	3	0.23	-	-	19	1.46	25	3.13	2	0.25	1	0.13
滋賀県	6	0.67	-	-	2	0.22	2	0.22	21	3.50	-	-	-	-
京都府	11	0.52	1	0.05	3	0.14	4	0.19	3	0.43	-	-	-	-
大阪府	166	2.81	76	1.29	55	0.93	137	2.32	23	1.64	21	1.50	-	-
兵庫県	58	1.26	10	0.22	11	0.24	41	0.89	33	2.36	4	0.29	-	-
奈良県	21	2.33	1	0.11	4	0.44	22	2.44	30	5.00	9	1.50	1	0.17
和歌山県	2	0.25	2	0.25	1	0.13	5	0.63	22	2.00	4	0.36	2	0.18
鳥取県	6	1.20	-	-	1	0.20	4	0.80	14	2.80	1	0.20	-	-
島根県	3	0.50	-	-	-	-	6	1.00	24	3.00	9	1.13	-	-
岡山県	30	1.76	3	0.18	3	0.18	45	2.65	8	1.60	-	-	3	0.60
広島県	27	1.00	4	0.15	4	0.15	32	1.19	71	3.38	37	1.76	4	0.19
山口県	12	1.20	5	0.50	-	-	13	1.30	23	3.29	10	1.43	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	12	1.71	-	-	1	0.14
香川県	13	1.44	3	0.33	2	0.22	6	0.67	17	3.40	3	0.60	-	-
愛媛県	6	0.55	2	0.18	2	0.18	14	1.27	3	0.50	-	-	1	0.17
高知県	4	0.67	-	-	-	-	5	0.83	56	7.00	1	0.13	11	1.38
福岡県	132	3.57	33	0.89	16	0.43	156	4.22	20	1.25	1	0.06	-	-
佐賀県	14	2.00	-	-	-	-	11	1.57	19	3.17	-	-	1	0.17
長崎県	9	1.13	2	0.25	-	-	7	0.88	2	0.18	1	0.09	1	0.09
熊本県	22	1.57	4	0.29	4	0.29	12	0.86	27	1.80	4	0.27	2	0.13
大分県	4	0.40	2	0.20	2	0.20	9	0.90	16	1.60	6	0.60	1	0.10
宮崎県	34	3.09	4	0.36	-	-	37	3.36	19	2.71	-	-	3	0.43
鹿児島県	43	2.69	10	0.63	-	-	39	2.44	11	0.92	-	-	-	-
沖縄県	2	0.17	1	0.08	-	-	2	0.17	14	2.00	1	0.14	-	-

第3121表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県・性別(女)

平成14年5月

	性器クラミジア 感染症		性器ヘルペス ウイルス感染症		尖形コンジローム		淋菌感染症		メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	2327	2.54	465	0.51	226	0.25	384	0.42	554	1.20	254	0.55	11	0.02
北海道	196	4.67	28	0.67	22	0.52	74	1.76	20	0.87	3	0.13	-	-
青森県	38	3.17	9	0.75	2	0.17	5	0.42	-	-	-	-	-	-
岩手県	66	5.08	10	0.77	7	0.54	3	0.23	20	1.00	19	0.95	-	-
宮城県	44	2.44	19	1.06	7	0.39	4	0.22	20	1.67	12	1.00	2	0.17
秋田県	22	1.57	2	0.14	5	0.36	1	0.07	6	0.75	3	0.38	-	-
山形県	23	2.30	2	0.20	1	0.10	2	0.20	8	0.80	12	1.20	-	-
福島県	24	1.50	-	-	-	-	3	0.19	3	0.43	1	0.14	-	-
茨城県	29	1.38	8	0.38	2	0.10	4	0.19	7	0.64	-	-	-	-
栃木県	37	2.31	2	0.13	2	0.13	8	0.50	8	1.14	-	-	-	-
群馬県	78	3.12	13	0.52	4	0.16	9	0.36	13	1.30	6	0.60	-	-
埼玉県	135	2.70	17	0.34	6	0.12	20	0.40	6	0.67	-	-	1	0.11
千葉県	89	2.23	17	0.43	6	0.15	7	0.18	18	2.00	30	3.33	-	-
東京都	96	2.34	58	1.41	13	0.32	22	0.54	53	2.65	16	0.80	2	0.10
神奈川県	89	1.48	14	0.23	5	0.08	6	0.10	12	1.09	15	1.36	-	-
新潟県	26	1.30	-	-	3	0.15	3	0.15	29	2.23	13	1.00	-	-
富山県	12	1.71	2	0.29	3	0.43	2	0.29	12	2.40	9	1.80	-	-
石川県	11	1.10	7	0.70	-	-	-	-	2	0.40	5	1.00	-	-
福井県	9	1.80	-	-	-	-	-	-	4	0.67	8	1.33	-	-
山梨県	12	2.00	2	0.33	-	-	1	0.17	4	0.40	6	0.60	-	-
長野県	42	2.63	5	0.31	19	1.19	4	0.25	10	0.91	3	0.27	-	-
岐阜県	11	0.73	2	0.13	-	-	2	0.13	7	1.40	-	-	-	-
静岡県	71	2.37	8	0.27	2	0.07	8	0.27	16	1.60	5	0.50	-	-
愛知県	100	1.96	22	0.43	7	0.14	10	0.20	17	1.31	-	-	-	-
三重県	14	1.08	2	0.15	-	-	-	-	13	1.63	-	-	-	-
滋賀県	10	1.11	4	0.44	-	-	-	-	12	2.00	-	-	-	-
京都府	135	6.43	11	0.52	3	0.14	4	0.19	1	0.14	-	-	-	-
大阪府	209	3.54	80	1.36	39	0.66	76	1.29	10	0.71	12	0.86	-	-
兵庫県	60	1.30	10	0.22	8	0.17	4	0.09	18	1.29	2	0.14	-	-
奈良県	9	1.00	-	-	1	0.11	1	0.11	13	2.17	4	0.67	-	-
和歌山県	3	0.38	6	0.75	-	-	-	-	7	0.64	1	0.09	-	-
鳥取県	11	2.20	-	-	-	-	1	0.20	8	1.60	-	-	-	-
島根県	5	0.83	-	-	-	-	-	-	8	1.00	7	0.88	-	-
岡山県	64	3.76	11	0.65	6	0.35	16	0.94	5	1.00	-	-	-	-
広島県	34	1.26	11	0.41	10	0.37	4	0.15	37	1.76	23	1.10	2	0.10
山口県	16	1.60	4	0.40	3	0.30	4	0.40	13	1.86	10	1.43	1	0.14
徳島県	4	0.67	1	0.17	-	-	-	-	4	0.57	-	-	-	-
香川県	31	3.44	2	0.22	2	0.22	4	0.44	13	2.60	7	1.40	-	-
愛媛県	32	2.91	-	-	1	0.09	1	0.09	3	0.50	1	0.17	-	-
高知県	8	1.33	2	0.33	-	-	3	0.50	21	2.63	1	0.13	3	0.38
福岡県	192	5.19	23	0.62	22	0.59	31	0.84	10	0.63	4	0.25	-	-
佐賀県	2	0.29	4	0.57	1	0.14	1	0.14	4	0.67	-	-	-	-
長崎県	14	1.75	15	1.88	5	0.63	6	0.75	1	0.09	-	-	-	-
熊本県	80	5.71	9	0.64	3	0.21	10	0.71	17	1.13	1	0.07	-	-
大分県	7	0.70	12	1.20	2	0.20	2	0.20	18	1.80	13	1.30	-	-
宮崎県	51	4.64	8	0.73	-	-	2	0.18	6	0.86	1	0.14	-	-
鹿児島県	23	1.44	3	0.19	-	-	3	0.19	7	0.58	1	0.08	-	-
沖縄県	53	4.42	-	-	4	0.33	13	1.08	10	1.43	-	-	-	-

注)6月21日集計分

第1104表 新登録患者数・都道府県別

平成14年5月

	結核
	報告数
総数	2874
北海道	95
青森県	27
岩手県	20
宮城県	46
秋田県	16
山形県	16
福島県	28
茨城県	43
栃木県	23
群馬県	29
埼玉県	109
千葉県	112
東京都	336
神奈川県	170
新潟県	48
富山県	23
石川県	21
福井県	18
山梨県	11
長野県	32
岐阜県	67
静岡県	62
愛知県	181
三重県	46
滋賀県	30
京都府	59
大阪府	371
兵庫県	170
奈良県	32
和歌山県	31
鳥取県	13
島根県	10
岡山県	43
広島県	35
山口県	40
徳島県	22
香川県	28
愛媛県	31
高知県	12
福岡県	136
佐賀県	16
長崎県	37
熊本県	37
大分県	29
宮崎県	36
鹿児島県	49
沖縄県	28



24週のデータ

注)表中の報告数は6月20日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年24週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス			
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積		
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	9	394	2	31	1	17			
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	1	-	-			
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-			
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1			
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-			
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	1	-	-			
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-			
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-			
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-			
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	1	-	-			
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	66	-	-	-	-			
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	42	2	14	-	7			
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	3	-	-			
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-			
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-			
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-			
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-			
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-			
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	24	-	-	-	1		
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	1		
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	1		
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1		
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	1		
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	18	-	3	-	2		
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	3	1	1			
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-			
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-			
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-			
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-			
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1		
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-			
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-			
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-			
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-			
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-			
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	29	-	-	-	-			
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-			
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-			
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年24週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノкокクス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	42	679	8	205	-	4	-	-	-	38	-	-	12	537
北海道	-	-	-	-	-	9	-	8	-	4	-	-	-	3	-	-	-	10
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	1	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
宮城県	-	-	-	-	-	12	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	26
秋田県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
福島県	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
栃木県	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
群馬県	-	-	-	-	1	13	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
埼玉県	-	-	-	-	-	5	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
千葉県	-	-	-	-	-	8	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	1	30
東京都	-	-	-	-	3	24	1	48	-	-	-	-	-	2	-	-	3	104
神奈川県	-	-	-	-	2	27	2	17	-	-	-	-	-	-	-	-	1	29
新潟県	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	1	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	1	30	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福井県	-	-	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
岐阜県	-	-	-	-	-	4	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	13
静岡県	-	-	-	-	1	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
愛知県	-	-	-	-	5	32	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
三重県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	1	26	1	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	15
大阪府	-	-	-	-	13	81	1	33	-	-	-	-	-	3	-	-	-	29
兵庫県	-	-	-	-	2	92	-	9	-	-	-	-	-	2	-	-	1	25
奈良県	-	-	-	-	-	17	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
和歌山県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	-	42	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	1	13
広島県	-	-	-	-	-	16	-	2	-	-	-	-	-	8	-	-	1	10
山口県	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	17
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
香川県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
愛媛県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
高知県	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	-	-	-	1	26	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	19
佐賀県	-	-	-	-	-	45	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	18	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
宮崎県	-	-	-	-	4	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鹿児島県	-	-	-	-	1	8	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年24週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	23	-	-	-	98	-	60	1	47	10	362	-	2	2	53	-	-
北海道	-	1	-	-	-	34	-	1	1	4	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	9	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	21	-	-	-	3	-	-
東京都	-	18	-	-	-	2	-	4	-	4	4	147	-	-	1	29	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	23	-	-	1	5	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	2	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	1	-	-	-	-	-	1	-	3	1	11	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	4	1	21	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	6	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	33	-	1	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	61	-	3	-	4	-	6	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年24週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ポツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	3	-	-	-	-	2	105	1	25	-	3	-	-	-	-	5	234
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	4	1	8	-	-	-	-	-	-	-	23
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	12
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2	14
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	44
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年24週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	33	-	17	-	-	-	-	-	1	-	-	-	36	2	3	2	45
北海道	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
東京都	-	2	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	10	-	-	1	8
神奈川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	5
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
広島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年24週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	697	0.15	458	0.15	4115	1.35	11219	3.69	7846	2.58	2799	0.92	1786	0.59	2691	0.89	30	0.01
北海道	27	0.12	32	0.22	346	2.39	318	2.19	352	2.43	45	0.31	39	0.27	88	0.61	-	-
青森県	32	0.49	15	0.36	18	0.43	62	1.48	109	2.60	13	0.31	53	1.26	16	0.38	-	-
岩手県	101	1.63	4	0.11	24	0.63	73	1.92	87	2.29	39	1.03	3	0.08	25	0.66	-	-
宮城県	46	0.47	2	0.03	99	1.68	432	7.32	188	3.19	64	1.08	35	0.59	62	1.05	-	-
秋田県	25	0.45	-	-	38	1.09	85	2.43	86	2.46	18	0.51	28	0.80	19	0.54	-	-
山形県	18	0.38	2	0.07	71	2.37	111	3.70	169	5.63	12	0.40	15	0.50	38	1.27	3	0.10
福島県	11	0.14	1	0.02	56	1.22	274	5.96	254	5.52	59	1.28	62	1.35	39	0.85	-	-
茨城県	-	-	1	0.01	92	1.24	190	2.57	176	2.38	77	1.04	88	1.19	33	0.45	-	-
栃木県	-	-	10	0.22	63	1.37	114	2.48	119	2.59	21	0.46	55	1.20	42	0.91	-	-
群馬県	-	-	11	0.18	76	1.23	154	2.48	121	1.95	21	0.34	32	0.52	68	1.10	-	-
埼玉県	8	0.03	38	0.25	316	2.04	752	4.85	580	3.74	151	0.97	99	0.64	173	1.12	1	0.01
千葉県	-	-	28	0.21	257	1.92	467	3.49	422	3.15	110	0.82	33	0.25	113	0.84	2	0.01
東京都	-	-	14	0.10	129	0.91	414	2.92	229	1.61	118	0.83	61	0.43	72	0.51	1	0.01
神奈川県	-	-	52	0.25	241	1.17	651	3.16	469	2.28	513	2.49	127	0.62	213	1.03	-	-
新潟県	71	0.72	10	0.17	58	0.97	338	5.63	192	3.20	13	0.22	59	0.98	43	0.72	-	-
富山県	27	0.56	1	0.03	67	2.31	133	4.59	83	2.86	39	1.34	38	1.31	24	0.83	-	-
石川県	-	-	4	0.14	23	0.79	146	5.03	113	3.90	24	0.83	45	1.55	29	1.00	-	-
福井県	-	-	1	0.05	43	1.95	104	4.73	57	2.59	6	0.27	4	0.18	11	0.50	-	-
山梨県	5	0.12	-	-	51	2.04	60	2.40	40	1.60	2	0.08	5	0.20	3	0.12	-	-
長野県	-	-	11	0.20	130	2.41	278	5.15	179	3.31	20	0.37	93	1.72	38	0.70	2	0.04
岐阜県	-	-	2	0.04	45	0.96	82	1.74	141	3.00	12	0.26	52	1.11	31	0.66	-	-
静岡県	-	-	7	0.08	128	1.49	335	3.90	220	2.56	123	1.43	105	1.22	89	1.03	1	0.01
愛知県	2	0.01	21	0.12	194	1.07	525	2.88	385	2.12	208	1.14	84	0.46	152	0.84	3	0.02
三重県	-	-	10	0.22	49	1.09	255	5.67	132	2.93	26	0.58	37	0.82	67	1.49	-	-
滋賀県	3	0.06	21	0.66	22	0.69	112	3.50	87	2.72	11	0.34	11	0.34	29	0.91	-	-
京都府	6	0.05	8	0.11	78	1.03	392	5.16	130	1.71	19	0.25	48	0.63	43	0.57	-	-
大阪府	6	0.02	31	0.16	246	1.26	703	3.61	400	2.05	155	0.79	101	0.52	178	0.91	5	0.03
兵庫県	-	-	36	0.28	142	1.11	634	4.95	450	3.52	119	0.93	95	0.74	111	0.87	1	0.01
奈良県	-	-	-	-	31	0.89	119	3.40	102	2.91	51	1.46	23	0.66	27	0.77	-	-
和歌山県	-	-	2	0.06	18	0.58	103	3.32	87	2.81	39	1.26	11	0.35	27	0.87	1	0.03
鳥取県	1	0.03	5	0.26	14	0.74	95	5.00	62	3.26	30	1.58	31	1.63	26	1.37	-	-
島根県	4	0.11	3	0.13	10	0.43	57	2.48	39	1.70	56	2.43	20	0.87	15	0.65	-	-
岡山県	1	0.01	-	-	27	0.50	162	3.00	104	1.93	108	2.00	6	0.11	21	0.39	1	0.02
広島県	-	-	25	0.33	101	1.35	227	3.03	115	1.53	71	0.95	20	0.27	55	0.73	3	0.04
山口県	6	0.09	4	0.08	68	1.39	224	4.57	158	3.22	7	0.14	26	0.53	83	1.69	1	0.02
徳島県	18	0.47	-	-	50	2.17	77	3.35	33	1.43	7	0.30	7	0.30	17	0.74	1	0.04
香川県	-	-	2	0.06	37	1.16	113	3.53	41	1.28	94	2.94	6	0.19	29	0.91	-	-
愛媛県	-	-	6	0.15	98	2.51	219	5.62	99	2.54	14	0.36	40	1.03	38	0.97	-	-
高知県	-	-	7	0.23	45	1.45	44	1.42	40	1.29	78	2.52	10	0.32	22	0.71	-	-
福岡県	13	0.07	15	0.13	186	1.55	530	4.42	325	2.71	32	0.27	23	0.19	157	1.31	2	0.02
佐賀県	-	-	-	-	45	1.96	49	2.13	73	3.17	4	0.17	3	0.13	44	1.91	-	-
長崎県	12	0.17	-	-	23	0.52	130	2.95	64	1.45	6	0.14	16	0.36	32	0.73	-	-
熊本県	3	0.04	4	0.08	71	1.45	196	4.00	99	2.02	6	0.12	9	0.18	77	1.57	-	-
大分県	-	-	2	0.06	68	1.89	209	5.81	143	3.97	9	0.25	8	0.22	62	1.72	1	0.03
宮崎県	-	-	5	0.14	72	1.95	239	6.46	102	2.76	7	0.19	6	0.16	58	1.57	1	0.03
鹿児島県	35	0.36	4	0.07	42	0.70	209	3.48	123	2.05	12	0.20	8	0.13	43	0.72	-	-
沖縄県	216	3.72	1	0.03	7	0.21	23	0.68	67	1.97	130	3.82	6	0.18	9	0.26	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年24週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	142	0.05	5129	1.69	422	0.14	4229	1.39	12	0.02	809	1.27	3	0.01	5	0.01	122	0.26
北海道	2	0.01	15	0.10	2	0.01	120	0.83	-	-	32	1.10	-	-	-	-	-	-
青森県	2	0.05	12	0.29	31	0.74	92	2.19	-	-	11	1.00	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	50	1.32	2	0.05	165	4.34	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
宮城県	2	0.03	35	0.59	8	0.14	155	2.63	1	0.09	3	0.27	-	-	-	-	2	0.17
秋田県	-	-	17	0.49	10	0.29	85	2.43	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
山形県	4	0.13	60	2.00	2	0.07	111	3.70	-	-	11	1.38	-	-	1	0.10	1	0.10
福島県	1	0.02	49	1.07	21	0.46	146	3.17	-	-	10	0.83	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	126	1.70	9	0.12	49	0.66	-	-	58	3.63	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	41	0.89	-	-	83	1.80	-	-	28	2.33	-	-	-	-	-	-
群馬県	2	0.03	134	2.16	1	0.02	97	1.56	-	-	71	5.07	-	-	-	-	-	-
埼玉県	4	0.03	191	1.23	24	0.15	152	0.98	-	-	56	1.60	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	342	2.55	43	0.32	162	1.21	-	-	57	1.63	-	-	-	-	2	0.15
東京都	6	0.04	236	1.66	10	0.07	94	0.66	-	-	18	1.29	-	-	-	-	-	-
神奈川県	2	0.01	391	1.90	20	0.10	218	1.06	2	0.05	60	1.43	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	-	-	308	5.13	3	0.05	174	2.90	-	-	7	0.78	-	-	-	-	2	0.15
富山県	1	0.03	90	3.10	1	0.03	82	2.83	-	-	3	0.43	-	-	-	-	-	-
石川県	2	0.07	67	2.31	4	0.14	23	0.79	-	-	4	0.57	1	0.20	-	-	-	-
福井県	-	-	36	1.64	1	0.05	15	0.68	-	-	1	0.33	-	-	1	0.17	12	2.00
山梨県	-	-	6	0.24	4	0.16	63	2.52	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
長野県	1	0.02	36	0.67	11	0.20	72	1.33	-	-	30	3.00	-	-	2	0.18	4	0.36
岐阜県	-	-	32	0.68	31	0.66	49	1.04	-	-	5	0.45	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	197	2.29	21	0.24	126	1.47	-	-	15	0.75	-	-	-	-	1	0.10
愛知県	3	0.02	309	1.70	64	0.35	204	1.12	1	0.03	16	0.46	-	-	1	0.08	-	-
三重県	2	0.04	85	1.89	4	0.09	57	1.27	-	-	13	1.08	-	-	-	-	10	1.11
滋賀県	-	-	16	0.50	1	0.03	28	0.88	-	-	4	0.57	-	-	-	-	4	0.57
京都府	2	0.03	43	0.57	4	0.05	59	0.78	-	-	7	0.39	-	-	-	-	-	-
大阪府	7	0.04	417	2.14	15	0.08	131	0.67	4	0.08	39	0.75	-	-	-	-	5	0.33
兵庫県	2	0.02	229	1.79	9	0.07	200	1.56	-	-	32	0.89	-	-	-	-	-	-
奈良県	2	0.06	32	0.91	4	0.11	66	1.89	-	-	2	0.22	1	0.17	-	-	2	0.33
和歌山県	-	-	24	0.77	1	0.03	47	1.52	-	-	15	3.75	-	-	-	-	5	0.45
鳥取県	-	-	68	3.58	2	0.11	17	0.89	-	-	1	0.33	-	-	-	-	4	0.80
島根県	-	-	47	2.04	-	-	50	2.17	-	-	1	0.33	1	0.13	-	-	2	0.25
岡山県	16	0.30	30	0.56	12	0.22	116	2.15	-	-	4	0.33	-	-	-	-	-	-
広島県	4	0.05	167	2.23	6	0.08	92	1.23	-	-	22	1.10	-	-	-	-	10	0.48
山口県	1	0.02	110	2.24	1	0.02	46	0.94	-	-	9	1.00	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	12	0.52	-	-	58	2.52	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.50
香川県	-	-	22	0.69	6	0.19	20	0.63	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	103	2.64	3	0.08	61	1.56	-	-	22	3.14	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	9	0.29	1	0.03	20	0.65	-	-	16	5.33	-	-	-	-	18	2.25
福岡県	64	0.53	338	2.82	15	0.13	132	1.10	1	0.04	41	1.58	-	-	-	-	-	-
佐賀県	1	0.04	59	2.57	4	0.17	21	0.91	-	-	1	0.25	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	-	-	64	1.45	1	0.02	53	1.20	1	0.13	9	1.13	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	3	0.06	148	3.02	-	-	22	0.45	-	-	11	1.22	-	-	-	-	19	1.27
大分県	-	-	107	2.97	8	0.22	89	2.47	-	-	5	1.00	-	-	-	-	4	0.36
宮崎県	1	0.03	167	4.51	1	0.03	125	3.38	-	-	17	4.25	-	-	-	-	5	0.71
鹿児島県	-	-	47	0.78	-	-	113	1.88	-	-	8	1.33	-	-	-	-	1	0.08
沖縄県	-	-	5	0.15	1	0.03	69	2.03	-	-	16	1.60	-	-	-	-	3	0.43

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年24週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	59	0.12	4	0.01	13	0.03
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	2	0.10	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-
秋田県	1	0.13	-	-	-	-
山形県	2	0.20	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	2	0.29	-	-	1	0.14
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	1	0.11	1	0.11	-	-
千葉県	2	0.15	-	-	1	0.08
東京都	1	0.04	-	-	6	0.24
神奈川県	-	-	-	-	4	0.36
新潟県	5	0.38	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.20	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	2	0.20	-	-
長野県	3	0.27	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.10	-	-	-	-
愛知県	2	0.15	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	2	0.29	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	5	0.33	-	-	-	-
兵庫県	1	0.08	-	-	-	-
奈良県	2	0.33	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	1	0.13	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	6	0.29	-	-	-	-
山口県	1	0.13	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	1	0.20	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	1	0.17
長崎県	2	0.17	-	-	-	-
熊本県	7	0.47	-	-	-	-
大分県	3	0.27	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	1	0.08	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第24号 平成14年6月28日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。